

『禅門抄物叢刊』第三

## 「大淵和尚再吟」の本文(上)

—「禅道文刹」との対校—

山田巖  
木村辰

## 目次

はじめに

第一部 校異篇

第二部 解説篇

(一)話則の異同・排列

(二)本文の異同

(1)各話則における本文の出入りについて

(2)脱文・脱字について

(3)衍文・衍字について

(4)誤写・誤刻について

(5)異文・異字について

①開音・合音に関するもの

②四つ仮名に関するもの

③開合・四つ仮名以外の仮名づかひの正用誤用に関するもの

④傍訓の有無に関するもの

⑤捨て仮名の有無に関するもの

⑥送り仮名の有無に関するもの

⑦漢字・仮名の表記に関するもの

⑧助詞「は」「も」「が」「の」「を」「に」「へ」などに関するもの

⑨その他

⑨指定辞「ダ」「ヨ」「ゾ」などに関するもの

⑩用言の活用に関するもの

⑪その他

(三)国語史的観点からする広略・新古の問題

はじめに

本学国文学研究室編輯『禅門抄物叢刊』の第三には大淵文利禅師講述にかかる「大淵和尚再吟」を収める。これが近世初頭の東國の知識層・教養層の言語を反映させた好資料であることは、既に度々言はれてゐる通りである。<sup>(注1)</sup>

本抄の内容は鏡島元隆博士の説かれるごとく、<sup>(注2)</sup>大淵禅師が「禅林類聚」を典拠としてこれを抜萃し加注したもの、いはば大淵禅師による「禅林類聚抄」である。本抄の書誌に關しては本『叢刊』第三の「解題」に一切を譲り、ここでは『叢刊』所収の写本「禅道文利」(元禄十一年1688 本学図書館蔵、以下「禅道」と略称)と板本「大淵和尚再吟」(万治二年1659刊 本学図書館蔵、以下「再吟」と略称)との關係についてのみ触れることにしたい。

先づ写本「禅道」について「新纂禅籍目録」は『禅林類聚文利鈔(仮題)』の項に、

類聚中カラ八十一則ヲ選ンデ仮名註シタモノ。文利鈔トハ後付ノ外題ニ「禅道文利」トアルニヨッタ仮題デアル。卷末ニ「元禄十一戊寅 雲州神光寺淵龍」トアルガ 之ハ筆跡モ本文ト異リ所持者ノ書入ト思ハレル。原写ハ遙カ以前デアル。各紙丁数下ニ「秀鉄」ノ文字ガミラレル。筆者名カ。

と解説してゐる。この「禅道」と板本「再吟」とは同一内容の本であるが、今この二書についてその目次を番号によつて対照させてみると次のやうになる。<sup>(注3)</sup>

「禅道」		「再吟」		目次番号対照表		〔上段↓「禅道」下段↓「再吟」〕	
一	上一	廿六	中二	五十一	中廿七		
二	上二	廿七	中三	五十二	中廿八		
三	上三	廿八	中四	五十三	中廿九		
四	上四	廿九	中五	五十四	中三十		
五	上五	卅	中六	五十五	下一		
六	上六	卅一	中七	五十六	下二		
七	上七	卅二	中八	五十七	下三		
八	上八	卅三	中九	五十八	下四		
九	上九	卅四	中十	五十九	下五		
十	上十	卅五	中十一	六十	下六		
十一	上十一	卅六	中十二	六十一	下七		
十二	上十二	卅七	中十三	六十二	下八		
十三	上十三	卅八	中十四	六十三	下九		
十四	上十四	卅九	中十五	六十四	下十		
十五	上十五	四十	中十六	六十五	下十一		
十六	上十六	四十一	中十七	六十六	下十二		
十七	上十七	四十二	中十八	六十七	下十三		
十八	上十八	四十三	中十九	六十八	下十四		
十九	上十九	四十四	中二十	六十九	下十五		
廿	上二十	四十五	中廿一	七十	下十六		
廿一	上廿一	四十六	中廿二	七十一	下十七		
廿二	上廿二	四十七	中廿三	七十二	下十八		
廿三	上廿三	四十八	中廿四	七十三	下十九		
廿四	上廿四	四十九	中廿五	七十四	下二十		
廿五	中一	五十	中廿六	七十五	下廿一		

七十六 下廿二	七十八 下廿四	八十 下廿六
七十七 下廿三	七十九 下廿五	(八十一)

この八十則は両書間に本文の小異が存するとは言へ、話則の排列や内容がすべて一致する。対応しないのは第八十一則のみである。この第八十一則の「再吟」に存せぬ理由は、この部分から後が「新纂禅籍目録」に言ふ後人の補入であるためであらう。「再吟」下巻第二十七則以降第四十五則までの末尾十九則は「禅道」に対応する本文の全く存せぬ部分である。かくて本抄の写本「禅道」と板本「再吟」とは本文成立上「略→広」といふ関係において把へることが可能であると言へる。

しかしながら一般に古写本・古板本における広略・新古の関係は、その書の成立の事情によってかなり異なってくるので、一概には言ひ得ないが、本抄の場合、吾人の現在までの調査では本『叢刊』所収の二書はほぼ「略→広」の路線で把握することができるやうに思へる。畢竟鏡島博士が『禅林類聚文利鈔』（「禅道」）は『大淵和尚再吟』の草本であらう」と説かれたごとく、大局的には写本から板本への過程をこの二書間に想定することができよう。

無論「写本→板本」といふ路線は安易に打ち出すべきでないこと、世に板本を書写せし写本がまま存する以上百も承知である。ここに煩を厭はず「禅道」「再吟」二書の本文対校表（校異）を掲載する所以は実にこの一点にある。すなはち、それぞれの書の本文の内部徴証に鑑みて、言ひ換へればその事実に基づいて二書の間接関係を決すべきであると考へるからである。

吾人の調査で「禅道」「再吟」の二書を「写本→板本」といふ関係で把握するに到った根拠はいくつか存し、詳細に亘つては「第二部 解説篇」（本誌次号）に述べることにするが、今その事例の一つを示せば次の通りである。<sup>(注4)</sup>

「禅道」第二十二則『青原鉄斧子』の詞章を見ると、「一枝ノ菊南臺ノ」（叢刊第三七一一七）とあるところを「再吟」は「一枝兼南臺ノ」（叢刊第三二四八―五）とする。同様に「一枝菊不入玉孫醉後益」（叢刊第三七一一九）とあるのを「再吟」は「一枝ノ兼不入玉孫醉後ノ益」（叢刊第三二四八―七―八）とする。この二つの「菊」を「再吟」が「兼」と作る理由は、実に「禅道」に「兼」の草書体に酷似する字体で書かれてゐる「菊」を、「再吟」の刻者が誤認したために生じた現象である。吾人はこの事実が、「写本→板本」の過程を示すものと解釈するのである。

ところで問題が一つ残る。今「禅道」「再吟」二書の関係を「写本→板本」の過程において把へたのであるが、実は両書の識語によると「禅道」が元禄十一年1699、「再吟」が万治二年1800となつてゐて、「再吟」が「禅道」を遡ること三十年も以前に刊行されてゐることになる。これを如何解釈すべきであらうか。「新纂禅籍目録」の解説にある通り、「禅道」の「元禄十一年」といふ年号は確かに本文とは異筆にて、後人の書き入れであらうが、「禅道」の書写年代を「再吟」の刊期以前に遡らせることが可能かどうかは疑問である。取りも直さず「禅道」「再吟」の本文の事実に基づいてこの二書の間接関係を見究めねばならぬこと、前に述べた通りである。

ただ、「禅道」には次のやうな誤写・抹消の事実も見受けられ

て、現「禅道」が何か（祖本）を底本として書写した証拠が存するのである。

不可得安心ワ刀鋒向上ノ 『叢刊』第三45-12-13

「先断臂安心ワ刀鋒」（45-12）とあるのに牽引されて「不可得安心ワ刀鋒」と作り、「刀鋒」を二重線にて抹消したる例。

さすれば「禅道」の本文形態は、元禄十一年は勿論のこと、本文書写時よりも何年か（その祖本の書写年代まで）を遡らせたものであることが考へられるのであるが、「再吟」の刊期以前に遡らせることができるか否かは依然として未解決のままである。やはり今後の考究に俟つ以外に方法はないであらう。

吾人は今『禅門抄物叢刊』第三の「大淵和尚再吟」を編輯・公刊するに際し、同書所収の二書を校合して本稿を草し、同書編輯の不備

を補なはんとするものである。大方のご示教を仰ぐこと切である。

〔注1〕 金田弘氏「東国語脈で書かれた抄物二・三」江戸初期東国方言研究資料」（『国語学』第20輯 昭和30年3月）を始めとする駒沢大

学文学部国文学研究室編「大淵代抄」（下巻）の「解題」第二部（339

〜340）の「注」に掲載した諸文献。

〔注2〕 駒沢大学文学部国文学研究室編「大淵代抄」（下巻）（『禅門抄物

叢刊』第二 昭和48年12月 汲古書院刊）の「解題」第一部（同書335

〜340）を参照のこと。

〔注3〕 『禅門抄物叢刊』第三の「大淵和尚再吟」の巻頭に「禅道文刹・

大淵和尚再吟 目次対照表」としてその詳細を記す。

〔注4〕 用例の脚部に示した算用数字は「大淵和尚再吟」（『禅門抄物叢

刊』第三）の頁・行数である。以下同断。

## 第一部 校 異 篇

(頁行)	禅 道 文 刹	大 淵 再 吟	(頁行)	門 裏 向 上	門 裡 向 上
7-1	文刹和尚破云	大淵刹和尚破云	185-7	7-7 此ノ主ニ紹テ	185-14 此ノ主ニ紹イテ
7-1	山ヲ射透スト	山射透ト	185-7	7-8 便ラヌ時キガ	185-14 便ラヌ時ガ
7-3	丹霞ノ淳ワ	丹霞淳ハ	185-9	7-9 内紹門裏ノ	185-15 内紹門裡ノ
	「9-5ニアリ」	「引テ句云……是輔 普灯ニ在之」	185-10	7-9 傳不傳ノ間ダワ	185-16 傳不傳ノ間ハ
7-4	内紹門裏	内紹門裡	185-11	7-10 本則ノ末エハ	185-16 本則ノ末ハ
7-6	含ンダ一問ダ	含ンデノ一問ダ	185-12	7-12 陰一辺ダアレドモ	186-1 陰一返ダアレドモ
7-6	威音前一箭	威音前ノ一箭	185-13	7-12 玉花ガ開バ	186-2 玉花ガ開ケバ
				7-12 陽ヲ帯タ時キ	186-2 陽ヲ帯ビタトキ

8-13	洞上デワ	186-16	9-10	間々呈ニ	187-11
8-12	淮地ノ月呈陽ノ	186-15	9-9	此主ヲ	187-11
8-11	父母ノ惠ヲ	186-14	9-9	指シタ呈ニ	187-10
8-11	便ルワ	186-14	9-9	天地開闢已前	187-9
8-11	浮山大陽ニ	186-14	9-9	一箭ト云ワ	187-9
8-10	御受ケ无イトキ	186-14	9-8	句云	187-8
8-10	父母ノ惠ミヲバ	186-14	9-7	其ノ徳ヲコソ	187-8
8-10	終イニ	186-13	9-7	宗派下ニ不限	187-8
8-9	内紹門裏	186-12	9-7	丹霞淳ハ	187-7
8-9	此一箭ワ	186-12	9-6	私シナイ	187-7
8-9	開闢已前	186-12	9-6	苗裔ナレトモ	187-6
8-8	見立モ	186-11	9-5	引テ句云皇天……是輔普 灯ニ在之	185-10
8-8	左浦右弼シタ	186-11	9-4	此ノ主ノ	187-4
8-7	臣下モ父母無イ	186-10	9-3	紹陽新定	187-4
8-5	紹イダト見レハ	186-9	9-3	主ニ叶ツテ於イテ	187-3
8-5	誰ノ秘曲	186-8	9-2	此ノ主ノ	187-3
8-4	指南ニ依ツテ	186-8	9-2	末エハ	187-3
8-4	浮山ノ遠ノ	186-8	9-2	五家七宗共ニ	187-2
8-4	雪峯ニ紹テ	186-7	9-2	在テコソ	187-2
8-2	威音前一箭	186-5	9-1	臣分上ノ	187-1
7-14	滿チノタ	186-4	8-14	輔佐シ羊	187-1
7-13	風迎ノ塔ト	186-3	8-14	門裏向上	187-1
7-12	二ノ句ワ	186-2	8-14	門裡向上	187-1
7-13	風ト云ワ	186-2	8-14	輔佐シ羊	187-1
7-13	風通ノ九塔ニト	186-2	8-14	臣分上ノ	187-1
7-13	滿チノタ	186-3	8-14	在テコソ	187-1
7-14	威音前一箭	186-4	9-1	五家七宗共ニ	187-2
8-2	雪峯ニ紹テ	186-5	9-2	此ノ主ノ	187-2
8-4	浮山ノ遠ノ	186-7	9-2	末エハ	187-2
8-4	指南ニ依ツテ	186-8	9-2	主ニ叶ツテ於イテ	187-2
8-4	誰ノ秘曲	186-8	9-3	紹陽新定	187-3
8-5	紹イダト見レハ	186-9	9-3	此ノ主ノ	187-3
8-5	臣下モ父母無イ	186-10	9-4	引テ句云皇天……是輔普 是輔普灯ニ在之	185-10
8-7	左浦右弼シタ	186-11	9-5	苗裔ナレトモ	187-6
8-8	見立モ	186-11	9-6	私シナイ	187-7
8-8	開闢已前	186-12	9-6	丹霞淳ハ	187-7
8-9	此一箭ワ	186-12	9-7	宗派下ニ不限	187-8
8-9	内紹門裏	186-12	9-7	其徳ヲコソ	187-8
8-9	終イニ	186-13	9-7	句云	187-8
8-10	父母ノ惠ミヲバ	186-14	9-8	一箭ト云ハ	187-9
8-10	御受ケ无イトキ	186-14	9-8	天地開闢已前	187-9
8-11	便ルワ	186-14	9-9	指メ呈ニ	187-10
8-11	父母ノ惠ヲ	186-14	9-9	此ノ主ヲ	187-10
8-12	淮地ノ月呈陽ノ	186-15	9-9	間々呈ニ	187-11
8-13	洞上デワ	186-16	9-10	間々呈ニ	187-11

9 11 威音——山ト云ワ  
 9 11 天子無父母  
 9 12 兩重ノ山ト云ワ  
 9 13 一圓ニ叶ウガ  
 9 13 宗風ヲ振ルイ羊タ  
 9 14 帶ビヌ沘ダ時キガ  
 9 14 間ダニ立ツワ  
 10 1 此主ノ徳用ノ  
 10 1 漏ラシ羊ダ  
 10 1 此主ワ  
 10 1 天地ノ扶ケアル  
 10 2 此主ノ  
 10 2 末エモ  
 10 3 相見シテ於イテ  
 10 3 新定ノ沘ト  
 10 4 吾ニ不限  
 10 4 此ノ主ヲ  
 10 4 嗣統シ来ツタ  
 10 5 此ノ徳ヲ  
 10 5 仰カヌ人ワ  
 10 6 委曲ヲ作ヌ  
 10 6 一デワ無イカ

〔威音——兩重山ヲ〕  
 射透スト云ハ  
 天子ニ無シ父母  
 兩重山ト云ハ  
 一圓々ニ叶ウガ  
 宗風ノ振イ羨ダ  
 帶ヌ沘ダトキカ  
 間ニ立ツハ  
 此ノ主ノ徳香ノ  
 漏ラシ用ダ  
 此ノ主ハ  
 天地ノ扶アル  
 此ノ主ノ  
 末モ  
 相見シテ於テ  
 新定ノキト  
 吾ガ門ニ限ラズ  
 此主ヲ  
 嗣統シ来タ  
 此徳ヲ  
 仰ガヌ人ハ  
 委曲ヲ成サヌ  
 一デハナイカ

187 11  
187 12  
187 12  
187 13  
187 13  
187 14  
187 15  
187 15  
187 15  
187 15  
187 16  
187 16  
188 1  
188 1  
188 2  
188 2  
188 3  
188 3  
188 3  
188 3  
188 4  
188 4

10 7 親ミ用ガ無クテワ  
 10 8 惜イ哉  
 10 9 白雲端ワ  
 10 9 浦ラ山シイワ  
 10 10 梶枕ラコソ  
 10 10 此叟ノ  
 10 13 本位蛇背上ダ  
 10 12 此當頭ヲ  
 10 13 切ト云ワ  
 10 13 卒度モ回ラヌ  
 10 13 當頭ノ一ダ  
 10 13 此一蛇ヲバ  
 10 13 切ニ好看セデワ  
 10 14 好看ノ恨ト  
 10 14 或イハ  
 10 14 怕レタ眼指  
 10 14 春ヲ傷ンデ眠ツタ  
 11 1 夫レデハ  
 11 1 未得謂證ト  
 11 1 示衆下エ

〔 13 2 ニアリ 〕

〔 (ナシ) 〕

〔同則 同頌……〕  
 委曲ヲ成ヌ一ヨ  
 親ミ用ガナクテハ  
 惜イ哉ナ  
 白雲端ハ  
 浦ラ山マシイハ  
 梶枕ラ  
 引句云……一山国  
 師ノ录ニ見タリ  
 此ノ事ノ  
 本位蛇背上ゾ  
 此ノ當頭ヲ  
 切ト云ハ  
 ソツトモマワラヌ  
 當頭ノ一ヨ  
 此一蛇ヲバ  
 急切ニ好看セデハ  
 好看ノ眼コト  
 或ハ  
 怕レタ眼ナザシ  
 春ルヲ傷デ眠タ  
 夫レハ  
 未得謂證ノ沃ト  
 示衆下ニハ

189 15  
189 14  
189 14  
189 14  
189 13  
189 13  
189 13  
189 13  
189 12  
189 12  
189 12  
189 12  
189 12  
189 11  
189 11  
189 9  
189 8  
189 8  
189 7  
189 7  
189 7  
189 6  
188 16  
188 5

11 14	無イ	190 11	12 10	此ノ氣槩ヲ見ヨ	191 5
11 14	一句ハ	190 11	12 10	大イビキカイテタ	191 5
11 13	向ウ見ルガ	190 10	12 9	打チカケタ	191 4
11 13	限ラヌ	190 10	12 9	傾ヌ	191 4
11 13	南山ニバカリハ	190 10	12 8	ミ羊ズ	191 3
11 13	在ツテコソ時キ	190 10	12 8	南山——ン	119 3
11 10	玄沙ノ則バ	190 7	12 7	沁ガ在ル	191 2
11 10	百ヒロノビタ	190 7	12 6	刃バニ觸レタ呈ニ	191 1
11 10	見ラレタワ	190 7	12 6	鋒ヲ犯シ	191 1
11 10	云ノ氣ハ	190 7	12 6	カムツタト	191 1
11 10	ナニカセント	190 7	12 6	サワギ渡ツタニ	191 1
11 9	真ニ野山翁ノ	190 6	12 6	別ニアル羊ニ	191 1
11 7	咬ミ切ラレタ	190 4	12 5	柱——勢タハ	190 16
11 7	見レバ	190 4	12 5	振イ羊ダ処デ	190 16
11 7	柱杖ニ	190 4	12 4	サシ付ケ羊ダ	190 15
11 7	勢ヲ作シタモ	190 4	12 4	南山——切	190 15
11 6	破レタ	190 3	12 3	ヲトツタト	190 14
11 6	毒蛇ニフレ	190 3	12 2	見真ニ	190 13
11 6	今日堂——命	190 3	12 2	此一蛇ヲ	190 13
11 4	此ノ一蛇ニハ	190 1	12 2	作シタワ	190 13
11 3	在ツテコソ	190 1	12 1	キヲ頌ジタ	190 12
11 3	兼當解會ワ	190 1	12 1	稜——身	190 12
11 3	簡板ト見タ	189 16	12 1	二ノ句ワ	190 12
11 1	駟年ニモ出デヌ	189 15	12 1	一〇片ノ蛇背ダ	190 12
				一片ノ蛇背上ダ	
				二ノ句ハ	
				陵師——亡身	
				沁ヲ頌ジタ	
				作シタハ	
				此ノ一蛇ヲ	
				ミ直ニ	
				ヲトツタゾト	
				南山——在リ切	
				サシ付ケ用	
				振イ用ダ処デ	
				柱杖——勢ラシタハ	
				別ニアル用ニ	
				サワギ渡タニ	
				觸レカムツタト	
				早ヤ犯シ鋒ヲ	
				劔ニフレタ呈ニ	
				沁ガアル	
				南——セン	
				ミ羨ズ	
				傾カヌ	
				打カケタ	
				大イビキカイタ	
				此ノ氣槩ヲミヨ	

12	10	刃ノ上エデ	191	5	13	8	月ヲ指シテ	192	2
12	10	モドリヲ打ツタ	191	5	13	9	ヲセラレタワ	192	2
12	11	刃デ居タ <sub>一</sub> タ	191	6	13	9	語ツテ見タ <sub>一</sub> ダ	192	2
12	11	生入道方面ヲ	191	6	13	9	サテ指シタワ	192	2
12	12	只釣魚船上デ	191	7	13	9	語ツタワ	192	3
12	12	見羊マデヨ	191	7	13	9	口頭ヲサカレタ	192	3
12	13	無イガ	191	8	13	9	夫レガ第二月ノ	192	3
12	14	回ツテ	191	9	13	9	沙三郎	192	4
12	14	立ツニ依ツテ	191	9	13	11	此ノ漁家ノ	192	4
12	14	毒氣ニ破レ	191	9	13	11	照シタコソ	192	4
12	14	刃ニツラヌカリ	191	9	13	12	光輝ガ出デズ	192	5
12	14	火夕劔ダト云ハ	191	9	13	13	スヂガ出デヌ	192	6
13	1	觸レ難イ	191	10	13	13	是レヲ	192	7
13	1	此眼ザシカ	191	10	13	14	沙門ノ眼コト	192	7
13	2	好看ノ眼デ	191	11	13	14	此眼コヲサエ	192	7
13	2	親ミ羊デハ	191	11	13	14	影ゲ團々デア郎ズ	192	7
13	2	一山国師录ニ在之	189	8	14	1	親ミ用	192	8
13	4	語ツテ見ル	189	12	14	2	洋ハカスクモリノ	192	9
13	4	月指サズ	191	12	14	2	秋ノソラ也	192	10
13	5	不如指語已前ニ	191	13	14	3	比ハ初冬	192	11
13	5	眼コヲ付デワ	191	14	14	4	蓬屋ハ沙郎独リ	192	12
		(ナシ)	191	15	14	5	引句 大滷詰……	192	13
		(ナシ)	191	16	14	5	師云額頭汗流	192	14
		(ナシ)	191	16	14	5	ツダアレドモ	192	15
		(ナシ)	191	16	14	5	ツダアレドモ	192	15



14 5 沙汰スル呈ニ蛇ダ  
 14 7 或イハ  
 14 7 擬向シタワ  
 14 7 酸對ダ在レドモ  
 14 8 長慶雲門ワ  
 14 8 働イタト見レバ  
 14 9 アセ向背ト見タ  
 14 10 玄沙ワ  
 14 10 南山ヲ——セント  
 乍去  
 14 10 短簍ノ姿デ  
 14 11 暖氣ヲ帯ズ  
 14 12 親ミ羊デハ

〔(ナシ)〕

沙汰シタ蛇ダ  
 或ハ  
 ザン向シタハ  
 酬對ダアレドモ  
 長慶雲門  
 働イタトミレバ  
 アセ向背トミタ  
 玄沙ハ  
 南山——センテ  
 乍生  
 短簍ノ姿タデ  
 暖氣ヲ帯ビズ  
 親ミ羨デハ  
 是レハ龍州……  
 ト被レ成タゾ  
 此ノ曉キ  
 山川トモニ  
 一等ニ  
 白ヲ妙エナハ  
 柳絮カ  
 釣リスル郎  
 山川白シ  
 不弁梅花与柳絮  
 春雪ノ部

192 15  
 193 1  
 193 1  
 193 1  
 193 1  
 193 2  
 193 3  
 193 3  
 193 3  
 193 3  
 193 4  
 193 4  
 193 4  
 193 5  
 193 5  
 193 5  
 193 6  
 193 7  
 193 7  
 193 7  
 193 7  
 193 7  
 193 7  
 193 7  
 193 8  
 193 9  
 193 9  
 193 9  
 193 10

心得ハ付句ハ  
 春雪ノ部ニ入ツタ  
 露サヌ羊ヒニガ  
 此ノ曉キト  
 當則ノ説破ダ  
 築破ノ曉ケボノム  
 曉ケボノム支ヨ  
 サテ亦雪峰ワ  
 大雪ニ逢ウテ  
 南山ニ——在リ  
 雪キノ賞シ羊ダ  
 其ノ曉ケボノガ  
 今ニサメヌ  
 一片ノ雪  
 大路ニ當リ羊ヨ  
 ナタレニ  
 眼ト云ハ  
 雪ヲ梅花ト見  
 柳花ト見タヨ  
 逢ウタ支ヨ  
 見定メヌ時キガ  
 雪ノ賞シ羊  
 末エワ  
 南山ヲ用イテ

私云付タ句ハ  
 春雪ノ部ニ入タ  
 露サヌガ  
 此ノ曉キト  
 説破ダ  
 築波ノ曉ボノム  
 曉ボノムヨ  
 サテ亦  
 大雪ニ逢テノ  
 南山ニ一條——  
 雪ノ賞シ用ダ  
 其ノ曉ボノガ  
 今マニサメヌ  
 一片ノ雪キ  
 羨ヨ  
 羨レニ  
 眼コト云ハ  
 雪キ梅花トミ  
 柳絮ト見タヲダ  
 逢タヲダ  
 見分タヌトキガ  
 雪ノ賞シ用  
 末エハ  
 南山ヲ用テ

193 10  
 193 10  
 193 10  
 193 10  
 193 10  
 193 11  
 193 11  
 193 11  
 193 11  
 193 11  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 12  
 193 13  
 193 13  
 193 13  
 193 13  
 193 14  
 193 14  
 193 15  
 193 15  
 193 16  
 193 16  
 193 16  
 194 1  
 194 1  
 194 2  
 194 2

15	10	ト云梳ワ南山ニワ	194	2	16	5	如——樹ト	195	2
15	11	向ウ見レバ	194	3	16	6	背觸易難語黙離微共ニ	195	3
15	11	埋レタ在レドモ	194	3	16	6	脚不 <small>語書キ込ミ</small> 踏 <small>レ</small> 樹ト	195	3
15	11	雪ノ重キヲモ不知	194	4	16	6	背觸易語黙離微トモニ	195	3
15	12	釣一片デ居タ	194	4	16	6	モキ放ツテ	195	4
15	12	當人デワ	194	4	16	6	接シツメテ御—ル処デ	195	4
15	12	雪ガ消スルヅ	194	5	16	7	背觸語黙ノ	195	4
15	13	一蛇ト云ワ	194	5	16	7	カラリトフンバナス	195	4
15	14	楚安ノ方ワ数年	194	11	16	9	大疑 <small>+</small> 一片デ	195	5
15	14	此ノ話ノ	194	11	16	9	一句ガナクテハ	195	6
15	14	究竟晨參暮	194	11	16	10	虎—坐ノ	195	7
16	1	請スル儘く	194	12	16	11	是処デハ無イ	195	8
16	1	實悟ノ旨ヲバ	194	12	16	10	ヒヨツト咄イタガ	195	8
16	1	月啼杜鵑ガ語り出タソ	194	13	16	12	某甲未—和尚	195	9
		〔 18—5—6ニアリ 〕	194	14	16	12	和尚道エト	195	9
		〔 大惠ノ云譬ハ…… 〕	194	14	16	12	離レタキダ	195	9
		〔 大惠書ニ在之 〕	194	15	16	12	頌意ハ	195	10
16	3	快庵一派デワ	194	16	16	13	嶮崖万仞ノキダ	195	11
16	3	出シ換エタ	194	16	16	13	二ノ句モ	195	11
16	4	香敵樹上ワ	195	1	17	2	知タデハナイ	195	13
16	4	后門ノ入派ダ	195	1	17	2	杜鵑デ知タ	195	13
16	4	モミ合セト云ハ	195	1	17	2	作广生對センくト	195	13
16	4	樹ト云ハ	195	1	17	3	声エ斗リ残ツタ	195	14
16	4	樹子ノ一タ	195	2	17	4	己レハナイ	195	14
16	4	樹子ノ一ヨ	195	2	17	4	落花ト云ニモ	195	14

17   5	作廣——セン／＼ト	195   15	18   3	実参実悟ト云ハ	196   11	18   3	実参実悟ト云ハ	196   11
17   5	モミ落イテ	195   16	18   3	沙汰スルツガ在ルゾ	196   10	18   3	「サタスル筋目ガア ルツダゾ」	196   11
17   7	参得ノサタワ無イ	196   1	18   4	引而神鼎譚禪師……	196   10	18   4	「……(ナシ)」	197   1
17   7	悟得ノサタワ無イ	196   2	18   6	参順——悟 大恵	196   10	18   6	「参ハ須ニ實 <sup>スレ</sup> ナル悟ハ須ニ實 <sup>スレ</sup> 悟 <sup>スレ</sup> ナル 大恵書ニ在之」	197   1
17   7	背觸語黙ノ	196   2	18   7	書在之	196   10	18   7	ナベテ崇 <sup>アガメ</sup> タ扶 <sup>フソウ</sup> 桑	197   1
17   8	兩頭ニ跨ルワ	196   3	18   7	總テ崇メタ扶桑	196   10	18   7	神ミサビタ	197   1
17   9	展ル間ダ	196   3	18   7	神ミ蛇尾タ	196   10	18   7	涙下サテ何ツゾ	197   1
17   10	精魂ノ間タヲ	196   4	18   8	楚安ノ方ワ	196   10	18   8	楚安方ハ	197   1
17   10	作廣生對／＼ト	196   5	18   8	花落樹村ノ鶺鴒声モ	196   10	18   8	落花枝上ノ鶺鴒 <sup>ケン</sup> 声モ	197   1
17   11	背觸易難ヲ高レタ	196   5	18   9	西行歌云	196   10	18   9	西行伊勢参宮ノ詠歌云	197   1
17   11	此直下不覚	196   6	18   9	何ニ夏モ	196   10	18   9	何事モ	197   1
17   11	爰デ出イタ	196   6	18   9	ヲワシマストワ	196   10	18   9	ヲワシマストハ	197   1
17   12	實悟デワ無イカ	196   6	18   9	辱サマ	196   10	18   9	カタジケナサニ	197   1
17   12	此実悟ノ旨ヲバ	196   6	18   10	唱エ出ノ公案ダ	196   10	18   10	唱エ出シタ公案ダ	197   1
17   13	啼尽／＼テ	196   8	18   10	契ツテノ	196   10	18   10	叶テノ	197   1
17   14	ホツキト啼イタ	196   8	18   11	破モ西行ノ	196   10	18   11	由来ハ西行ノ	197   1
17   14	語黙ヲ高タ	196   8	18   11	詠歌ヲヨセタ	196   10	18   11	詠歌ダ	197   1
18   1	爰ニ至テワ	196   9	18   11	先伊勢ハ	196   10	18   11	マツ伊勢ハ	197   1
18   1	怕レヲナサデワ	196   10	18   11	天下ノ総廟	196   10	18   11	天下ノ総廟 <sup>宗(書キ込ミ)</sup>	197   1
18   2	虚参虚悟ノ間ダヲバ	196   10	18   12	ユムシカ郎ズト	196   10	18   12	ユムシカ勞ズト	197   2
18   3	宗門デハ	196   11			196   11			

19 7	手ニ枝ヲ攀シ	サテ手ニ枝ヲ攀シ	197 10	20 8	云意ニ刻ト	同云意ニ刻ムト	198 12
19 6	此涙下スルガ	此ノ神殿ニ向テ涙下スルガ	197 9	20 6	打ツタモ此拳シヨ	便チ打タモ此ノ拳シヨ	198 7
19 5	開關已前ノ主シ	開關以前ノ在ル主	197 8	20 5	楚安ノ方ワ	楚安ノ方ハ	198 5
19 5	見タ呈ニ	ミタ呈ニ	197 8	20 4	露柱ノ語ト云ニ	露柱ノ話ト云ニ	198 5
19 4	敵シク接スルガ	敵ク接スルガ	197 7	20 3	付カヌ処ガ	付カ処ガ	198 4
19 3	手脚舌根ヲ引ン抜イテ	手脚舌根ノ引ン抜イテ	197 7	20 3	啼尽ノ	鳴キ尽ノ	198 4
19 3	推シ立テ於イテ	推シ立テ、於テ	197 6	20 3	夜通不知販<ト	夜モスガラ不 <sub>レ</sub> 如 <sub>レ</sub> 販ニハト	198 4
19 2	當則ニ合セ羊モ	當則ニ合セテモ	197 6	20 3	ホツキト啼イタ	ホツキト鳴イタ	198 4
19 2	涙ワアルマイ	涙ダハ在ルマイ	197 6	20 3	ホツキト啼イタ	ホツキト鳴イタ	198 4
19 2	見 <sub>レ</sub> 聞 <sub>レ</sub> 計リデ	ミ <sub>レ</sub> 聞 <sub>レ</sub> 計デ	197 5	20 1	ワツト叫ンダゾ	ワツト叫ンダゾ	198 2
19 2	磨イテ	磨ガイテ	197 5	20 1	此露柱ガアル時	此露柱ガアルトキ	198 2
19 1	チリバメ	銘 <sup>チリ</sup> バメ	197 5	19 12	モミ合セト云ツテ	モミ合セト云テ	197 16
19 1	皇城廿一社ヲ始トメ	皇城ノ廿一社ヲ始メトシテ	197 4	19 11	低声此声エ	低声此ノ声エ	197 14
18 14	爰ニ向テ涙ヲ	爰ニ涙ダラ	197 4	19 11	楚安方ワ	楚安芳ハ	197 14
18 14	改メヌ <sub>レ</sub> ダ	改ヌ <sub>レ</sub> ダ	197 3	19 10	西行ノ涙下ト一ツニ	(ナシ)	
18 14	開關已前ヲ	開關以前ヲ	197 3	19 9	爰テ古郷ト云ワ	古郷ト云ハ	197 12
18 14	是ワ神代ノ俣テ	是レハ神代ヨノ俣	719 3	19 9	思イ入古郷ガ在ツテ	思イ入ル古郷ガ在テ	197 12
18 13	ヲワシマサヌワ	ヲワシマサヌ	197 3	19 8	啼尽シタ	啼キ尽シタ	197 11
18 13	見 <sub>レ</sub> 聞 <sub>レ</sub> キ支モ	見 <sub>レ</sub> 聞 <sub>レ</sub> フモ	197 3	19 8	夜通不 <sub>レ</sub> 如 <sub>レ</sub> 販<ト	夜通不 <sub>レ</sub> 如 <sub>レ</sub> 販<ト	197 11
18 13	神ミサヒ販ツテ	神ミサヒ販テ	197 3	19 9	末モ落花枝上デ	末エモ落下枝上デ	197 11
18 13	一向ノ茅	一向ノ茅 <sup>カ</sup> ヤガ	197 2	19 7	儂季ノ取りサタヨ	儂季ノ取り沙汰ヨ	197 11
18 12	思ウタニ	思タ	197 2	19 7	足樹ヲ蹈履ワ	足樹ヲ蹈ム履ハ	197 10

20	8	見立タ	見立テタ	198	12
20	8	陞坐ノ錦心	陞座ノ錦心	198	13
20	9	院主ニワ	院主ニハ	198	14
20	10	夜鶴ニコトヨセテ	夜鶴ニ <sup>フ</sup> ヨセテ	198	14
20	10	寒清——眠今宵モ	寒清——不 <sup>レ</sup> 成今宵モ	198	14
20	10	脉吟ジ明カサヌ	詠吟ジ明サヌ	198	15
〔 22 10 ニアリ 〕					
20	11	見ルト云ガ	ミルト云ガ	198	16
20	12	本則ノ句面ワ	本則ノ句面ハ	198	16
20	12	云イ古ルシタ呈ニ	云イ古シタ呈ニ	199	1
20	12	一句ハ不叶	一ノ句ハ不叶	199	1
20	13	癡兒ト於イタ	痴兒ト於イタ	199	2
20	13	垂示接物ガ	接示接物ガ	199	2
20	13	刻ミ羊ダ	刻ミ用ダ	199	2
20	14	御説キ無イ時キガ	御説キナイ時カ	199	2
20	14	意刻ンダ <sup>レ</sup> ダ	意ニ刻ンダ <sup>レ</sup> ダ	199	3
20	14	二句ハ陞座ワ	二ノ句ハ陞座ハ	199	3
21	1	第一坐ノ位ナ呈ニ	第一座ノ位イナ呈ニ	199	3
21	1	顧ルト云ワ	顧ルト云ハ	199	4
21	1	引キ受ケタ <sup>フ</sup> ダト	受ケタト	199	4
21	2	位イダ時キ	位イダトキ	199	5
21	2	本位ニ通ジタ <sup>レ</sup> ダ	位ニ通ジタ <sup>レ</sup> ダ	199	5
21	3	良駟——風ナラバ	良——風ナラバ	199	5

21	3	陞坐ノ鞭影ヲ	陞座ノ鞭影ヲ	199	5
21	3	茶山ノ本位ニ	茶山本位ニ	199	6
21	4	亦一説	亦一説ニ	199	6
21	4	茶山ノ陞坐三軍	茶山ノ陞座ガ三軍	199	6
21	5	垂リ物ナラバ	乘リ物ナラバ	199	7
21	5	良駟四——風デナウ	良駟追風デノウテ	199	7
21	5	テワ有ルガ	ハアルガ	199	7
21	5	鞭影ノ顧リミ羊	鞭影ノ顧ミ用	199	8
21	6	鞭チ先キノ飯シ羊ダ	鞭先キノ返シ用ダ	199	8
21	7	ソコガ位ダ	夫ガ位ダ	199	9
21	7	鶴ハ鳥道デ	鶴ルハ鳥道デ	199	9
21	8	元トヨリ	本トヨリ	199	10
21	8	鶴ガ寒清ニ	鶴ルガ寒清	199	11
21	9	修行デ位タ	修行デ位イダ	199	11
21	9	不成 <sup>レ</sup> 功名タ処ガ	不 <sup>レ</sup> 成 <sup>レ</sup> 功名タ処ガ	199	11
21	9	一片ダトシツテ	一片ダト云テ	199	12
21	10	位イニ付イタ <sup>フ</sup> デ	位イニツイタデハ	199	12
21	10	〔 無イ 〕	〔 無イ 〕	199	12
21	10	天童ノ家ヨリ	天童家ヨリ	199	12
21	10	陞飯方丈ノ窺イ羊ダ	陞座飯方丈ノ窺イ用ダ	199	13
21	11	腸タト云ツテワ	腸タト云ハ	199	13
21	11	兼モノニシ如ク	練モノニシタ如ク	199	14
21	12	咄キ出シタト見レバ	吐キ出シタトミレバ	199	14
21	12	如此咄出文章ノ内ニモ	如此吐出ス文章ノ内ニモ	199	15

21	13	當則ニ合テモ	199	16
21	14	語句文章紋彩ノ地 〔ダ呈ニ〕	200	1
21	14	為ニ下ツテ御―ル	200	1
22	1	一言モ不説	200	2
22	1	正當極位向上ノ	200	2
22	1	含ンデ御―ルト見レバ	200	2
22	1	嶮崖―句ト云ハ	200	3
22	2	經論記示衆ニ落チヌ	200	3
22	3	此寗崖句極則ノ	200	4
22	4	本位ノ理リ羊ダ	200	5
22	4	此御旨ヲ不叶	200	5
22	4	シラシメタシト	200	5
22	5	覺門末ニ在ツテ	200	6
22	5	陞座ノ御肩ニ代リ羊ダ	200	6
22	5	去リナガラ	200	6
22	5	吾ガ軒バデモ	200	6
22	6	版方丈ノ旨ニ至ツテワ	200	7
22	6	寒―眠クル	200	7
22	7	更ニ句脉ガ	200	8
22	8	吟シ暮ラシテ	200	9
22	8	窺イ羊ダ	200	10
22	10	引句誰知……	198	15
22	10	車破ニ在之……		
11		古人ガ便也		
		〔(ナシ)〕		

22	12	當則ニ合セテモ	200	1
22	12	語句文章ノ紋彩ナ 〔呈ニ〕	200	1
22	12	為ニ下テ御―ル	200	1
22	13	一言モ不レ旋	200	2
22	14	正當ニ極意向上ノ	200	2
22	14	含デ御―ルトミレバ	200	2
22	14	寗崖ノ句ト云ハ	200	3
23	1	經論説示ニ落ヌ	200	3
23	1	此ノ寗崖句極則ノ	200	4
23	1	本位ノ理ノ羨ダ	200	5
23	1	此ノ御旨ヲ不レ叶	200	5
23	2	知ラシメタシト	200	5
23	2	覺門末ニ在テ	200	6
23	2	陞坐ノ御肩タニ代リ用ダ	200	6
23	5	サリナガラ	200	6
23	5	吾ガ軒キ葉デモ	200	6
23	6	版方丈ノ御旨ニ至テハ	200	7
23	6	寒清―成トクル	200	7
23	6	更ラニ句脉ガ	200	8
23	7	吟シ暮シテ	200	9
23	7	窺イ得用ダ	200	10
23	7	引句ニ誰カ知ル……	198	15
23	8	天童二十年	201	6
23	7	玲瓏岩ト云ウガ	201	6
23	7	末エワ太白峯	201	6
23	7	茶山ノ堂奥向上位イダ	201	5
23	6	留離モ見エズ珊瑚モ 見エヌ処ガ	201	5
23	6	扣キ落トシタ時キ	201	4
23	5	雲井ニ掛ツタ	201	4
23	5	ホグルム処デ	201	4
23	5	説示無イアルガ	201	3
23	2	右邊ニワ珊瑚ヲ布イタ	201	1
23	2	左邊ニワ瑠璃ヲミガキ	201	1
23	2	今日陞座ワ	201	1
23	1	総メ中デ	200	16
23	1	珊瑚ダト云ワ	200	16
23	1	私云洞上デ	200	16
23	1	古尊宿录在之	200	15
22	14	左邊是玞珠	200	15
22	14	更深タヨ	200	14
22	13	天童ノ覺ワ	200	14
22	12	禅床トハ	200	13
22	12	右邊ニワ	200	12
22	12	左邊ニハ	200	12
22	12	引テ左邊是珍珠	200	15
22	14	古尊宿ノ录ニ在之	200	15
22	13	心ハ洞上デ	200	16
22	13	珊瑚ダト云ハ	200	16
22	13	総ジテ中デ	200	16
22	13	今日ノ陞座ハ	201	1
22	13	左邊モ	201	1
22	13	右邊モ珊瑚ヲ布イタ	201	1
22	13	説示ハ無イ在ルガ	201	3
22	13	ホクルム処デ	201	4
22	13	雲井ニ掛タ	201	4
22	13	扣キ落シタ時キ	201	4
22	13	瑠璃モ見エヌ処ガ	201	5
22	13	茶山ノ堂奥向上位イダ	201	5
22	13	末エハ大白峰	201	6
22	13	玲瓏岩ト云ガ	201	6
22	13	天童二十廿年	201	6

23 8	骨子舎リヲ碎ク 此地デ寒——成イ	23 8	骨舍利ヲ碎ク 此ノ地デ寒清	201 6	24 5	地紙ノ切レノ一ツモ	202 13	24 5	是ガ入頭ノ	202 13
23 9	更深レバ	23 9	更深クレバ	210 7	24 5	入頭當着ヲ	202 14	24 5	持セヌヲ	202 14
23 9	其假功極ノ	23 9	其ノ假功極ノ	201 7	24 6	爰ワ打頭ノ大破ガ	203 14	24 6	爰ハ打頭ノ大破レガ	202 15
23 10	△太白峯モ…… 功処ノ用処ダゾ	23 10	窺イ羨デハ無イカ	201 8	24 8	着力ト云ウタ	203 1	24 8	着力ト云タ	203 1
	(ナシ)		(ナシ)		24 9	一句ハ破也	203 1	24 9	一ノ句ハ破也	203 1
	(ナシ)		同則 同頌 同云…… ……本位向上ニ付タゾ	201 9	24 9	来由ト云ワ	203 1	24 9	来由ト云ハ	203 1
23 11	还シ来レト	23 11	还來レ还來レト	202 5	24 10	犀牛——来ト云イ	203 2	24 10	犀牛——將來レト云イ	203 2
23 12	急チ母鷹ヲ取ツテ	23 12	忽チ母鷹ヲ取テ	202 6	24 10	達処ヲ驗ルガ	203 3	24 10	達処ヲ驗ミルガ	203 3
23 12	劈破シタソ	23 12	劈破シタハ	202 7	24 11	拈来リ羊ダ爰ヲ	203 3	24 11	拈来リ羊ダ処ヲ	203 3
23 13	江西ノ逸物トワ	23 13	江西ノ逸物トハ	202 7	24 11	無對ト云ウガ	203 3	24 11	無對ガ	203 3
23 13	懶广樞ワ	23 13	懶——ハ	202 7	24 12	二度在ルデハ	203 4	24 12	二度アルデハ	203 4
24 1	足土ヲバ験テ	24 1	足土ヲ験ミテ	202 10	24 13	打頭ノ休処ヨ	203 5	24 13	打頭ノ休処	203 5
34 2	破也トツイタワ	34 2	破也トツイタハ	202 10	24 13	展ヘ羊ダ	203 5	24 13	展ベ羨ダ	203 5
24 2	捨テ、走ト云ハレ	24 2	ステム走ト云ハ	202 11	24 14	涼シイ無對ノ	203 6	24 14	涼イ無對ノ	203 6
24 3	初関ヲ踏放	24 3	初関ヲフンハナス	202 11	25 1	是処ト持タラバ	203 7	25 1	是処ト云デハ	203 7
24 3	百骸俱ニ潰散シ	24 3	百骸共ニ潰散シ	202 11	25 1	泥水ヲソムギ	203 7	25 1	泥水ヲソムギ	203 7
24 3	骨子舍利トモニ	24 3	骨子舍利共ニ	202 12	25 2	雷雨々后ワ	203 8	25 2	雷雨雨后ハ	203 8
24 4	ステタータン処ヲモ	24 4	捨テターダゾ処ヲモ	202 12	25 3	快庵ノ	203 9	25 3	快庵ノ	203 9
24 4	扇子——还シ来レ	24 4	扇子——还來レ	220 12	25 4	細ニ記スルニ	203 10	25 4	子細ニ記スルニ	203 10
					25 5	鶻子ノ	203 11	25 5	鶻子ノ	203 11





27	1	嘖ツタ強岳ノ	205	5	27	9	爰ワ破タホド	205	13	27	1	爰ハ破ツタ呈	205	13
27	1	荒レ立ツタ呈ニ	205	5	27	10	柳枝ノ如クデ	205	14	27	10	楊柳ノ如クデ	205	14
27	2	タヲヤカナゾ	205	6	27	10	其ノ俣ノ本分	205	14	27	10	其ノ俣ノ本分	205	14
27	2	作者ワ	205	6	27	10	犀牛児デワ無イカ	205	14	27	10	犀牛児デハ無イカ	205	14
27	2	モメツク碎ツ	205	7	27	10	西施ガ紅顏	205	14	27	10	西子ガ紅顏	205	14
27	2	時雨タ呈ニ	205	7	27	10	頭角全イフヨ	205	15	27	10	頭角十全デハアレ	205	15
27	3	夜景ノ穩カサヨ	205	7	27	11	末エハ	205	15	27	11	末ハ	205	15
27	3	此句ハ大支ノ処ニ	206	3	27	11	會尺タ	205	15	27	11	會釈タ	205	15
27	3	用ル句ダ名師ノ扱	206	3	27	12	モメツク碎ケツ	205	15	27	12	モメツクダケツ	205	15
27	3	イアリ	206	3	27	12	時雨ルト云ワ	205	16	27	12	時雨ルト云ハ	205	16
27	4	當則ワ入頭勘弁	206	8	27	12	嘖ツタ徑チガ	205	16	27	12	嘖タ徑チガ	205	16
27	6	一度ナラデワ無イ	205	9	27	13	無對ノ処ワ	206	1	27	13	無對ノ処ハ	206	1
27	6	此嘖ツタ面顏ヲ	205	10	27	13	雨餘風——川デ	206	1	27	13	雨餘風月滿長川デ	206	1
27	6	攀噲ガ嘖リ	205	10	27	14	此夜景ガ	206	2	27	14	此ノ夜涼ガ	206	2
27	7	髮ミ甲ヲ透シト	205	11	27	15	頭角ト云ウニ	206	2	27	15	頭角ト云ニ	206	2
27	7	宗旨デワ	205	11	28	1	ソムケ目ワ	206	2	28	1	ソムケメハ	206	2
27	7	無端踊破ツタ衲僧ヲ	205	11	28	1	無イ	206	3	28	1	無イ	206	3
27	8	攀噲張良如キノ物夫	205	12	27	2	何レ幻雅ノ	206	3	27	2	何レ幼稚ノ	206	3
27	8	破也ノ徑チワ	205	12	27	2	〔 27 3 ニアリ 〕	206	3	27	2	〔 ……ノ扱イ在之 〕	206	3
27	8	嘖リ一片デ破ツテ見タ	205	12	28	2	螢ノ雪窓ニ	206	8	28	2	螢ノ雪窓ニ	206	8
27	8	此面顏ノ	205	12	28	3	三餘ヲ惜ム	206	9	28	3	三餘ヲ惜ム	206	9
27	9	ツムト荒立テ	205	12	28	3	不如休セデワ	206	9	28	3	不如休セデハ	206	9
27	9	無對ノ処ワ	205	13	28	4	始メトワナツタレ	206	10	28	4	始トハナツタレ	206	10

29   2	29   1	28   14	28   14	28   14	28   13	28   12	28   11	28   11	28   10	28   10	28   10	28   10	28   9	28   8	28   7	28   7	28   6	28   6	28   5	28   4	
衣仰タゾ	其徒黨ワ	与麼ニ	学得ヲ本トシテ	見回シテ見ルニ	唐ノ世ノ時人ヲ	聞イテ噉嗔シテ	或イハ	禅和子トモガ	石馬祖下ノ	向上ノ事ニ叶ツテ	舌根ガツンヌケ	記得スル間ダノ	再拳ノ直下テ	黄檗ワ昔日百丈下デ	草書トハ草字ノ一也 〔…廣勻ニ入ル〕	醉墨堂ワ中書堂ノ一也	又恍惚不明良慌ハ虎 晃ノ功昏也	〔ナシ〕	〔ナシ〕	儻ハ他朗功也	東破
被レ仰タ	其ノ徒黨ハ	与广ニ	学得ヲ本トシシ	見回シテ見ニ	唐ノ世ノ時キ人ヲ	聞テ噉嗔シテ	或ハ	禅和子共ガ	石頭馬祖下ノ	向上ノ事ニ叶テ	舌根ガツンヌケテ	記得スル間ノ	再拳ノ直下	黄檗モ昔日百丈下デ	〔ナシ〕	醉墨堂ハ中書堂ノ一也	〔ナシ〕	〔ナシ〕	儻他ノ朗ノ切シ	東破	
207   1	207   1	206   16	206   15	206   15	206   14	206   14	206   13	206   12	206   12	206   12	206   12	206   11	206   11	206   10	209   1	208   16	208   16	208   16	208   15	208   15	
29   11	29   11	29   11	29   11	29   10	29   9	29   8	29   8	29   8	29   7	29   7	29   6	29   6	29   4	29   4	29   4	29   3	29   3	29   3	29   2	29   2	
膝ノ下ニ引敷イテ	二ノ句モ	ホコラヌ一ダ	出世西来ノ	今日ト陶ツタ孤風タ	凜ウシテモ	スサマシイト誦ンタ	ト衣仰タゾ	道師家が無いマデヨ	断エ無いデハ無い	禅道仏法ノ	思イツメテ問処ヲ	商量浩々地ハ	叭ト喝シテ	用処ガ在ツテコソ用処テ	カケ回ツテノ	陶ツタラバ	天生無師知	此ノ禪ノ師	禅ノ師ト云ワ	〔还知大唐国〕 禅師	〔还知大唐国裏ニ無キ〕 禅師
207   12	207   11	207   11	207   10	207   10	207   9	207   8	207   8	207   8	207   7	207   7	207   6	207   6	207   4	207   4	207   4	207   3	207   3	207   3	207   2	207   2	
膝ザノ下ニ引シイテ	二ノ句モ	誇ラヌ一ダ	出世兩来ノ	今日ト陶タ	凜ジウシテモ	スサマシイトヨンダ	ト被レ仰タ	近師家がナイ込デヨ	断テ無いデハ無い	禅道佛法	思イツメテ問タ処ヲ	商量浩々地ハ	嚙ト喝シテ	用所ガアツテコソ	カケ回テノ	陶タラバ	天生禪無師知	此ノ禪ノ師	禅ノ師ト云ハ	〔还知大唐国裏ニ無キ〕 禅師	〔还知大唐国裏ニ無キ〕 禅師

29	13	定龍蛇ト	29	13	定龍蛇ヲ	207	12	30	7	叶ワヌニ依テ	208	6	31	3	心ニ叶イ派	208	14	30	7	叶ハヌニヨツテ	208	6					
29	13	天下ノ衲僧ヲ	29	13	天下ノ衲子ヲ	207	12	30	7	宗門デワ匡レ徒領六	208	6	31	3	宗門デハ匡レ徒領衆ヲ	208	7	29	13	如是ノ手段	207	13	29	13	如是ノ手段	207	13
29	13	塩官會裏デ	29	14	塩官會裡デ	207	14	30	8	螢雪ノ窓ニ	208	7	30	8	螢雪ニ	208	7	29	14	輕シク觸忤シテ	207	14	29	14	輕シク觸忤シテ	207	14
30	1	是ガ	30	1	是レガ	207	15	30	9	夫コソ	208	8	30	9	夫レコソ	208	8	30	1	向斗リ見ルワ	207	15	30	1	向斗リ見ルハ	207	15
30	2	与エタワ	30	2	与エタハ	207	16	30	10	与廢	208	8	30	10	与廢ニ	208	8	30	2	修行ニ觸ル処ヲ	207	16	30	2	修行ニ觸ル処ヲ	207	16
30	3	其ノ假	30	3	其假	207	16	30	11	仏祖ノ糟吐ヲ	208	9	30	11	佛祖ノ糟吐キヲ	208	8	30	3	堆イ位イデ	207	16	30	3	堆イ位イデ	207	16
30	3	於イタゾ時キ	30	3	於イタゾトキ	208	1	30	12	定メ羊ダ	208	9	30	12	定メ用ダ	208	9	30	3	向見籠ガ	208	1	30	3	向ウ見籠ムガ	208	1
30	4	一條修行ダ	30	4	一條修行ダ	208	1	30	13	一掌セラレタハ	208	9	30	13	佛法ニフルム処ヲ	208	9	30	4	幻稚ノ姓名トハ	208	1	30	4	幻稚ノ姓名トハ	208	1
30	4	字ナト云ツテ	30	4	字ナト云テ	208	2	30	14	憂ノ基イタ呈ニ	208	10	30	14	一掌セラレタハ	208	9	30	4	犬房松房ト云ウヲサナヲ	208	3	30	4	犬房松房ト云ウヲサナヲ	208	3
30	5	犬房松房ト云ウヲサナヲ	30	5	犬房松房ト云ヲサナハヲ	208	3	31	1	於イタゾ時キガ	208	12	31	1	於イタゾトキガ	208	12	31	1	幼稚ノ肌エニ	208	3	31	1	幼稚ノ肌エニ	208	3
30	6	天生無師	30	6	天生禪無師	208	4	31	2	弄ジ羊タゾ	208	13	31	2	弄ジ用ダ	208	13	31	2	天生無師	208	4	31	2	天生禪無師	208	4
30	6	自知根本知ヨ処ガ	30	6	自知根本知處ガ	208	4	31	2	爪牙ト云イ	208	13	31	2	爪牙ト云イ	208	13	31	2	自知根本知ヨ処ガ	208	4	31	2	自知根本知處ガ	208	4
30	7	上頭ノ関ヲ躍ミ	30	7	上頭関ヲフミ	208	4	31	3	不可得ノ心ノヨ	208	14	31	3	不可得ノ心ノダ	208	14	31	3	上頭ノ関ヲ躍ミ	208	4	31	3	上頭関ヲフミ	208	4
30	7	提ケタヲヨ時キ	30	7	提ゲタヲヨトキガ	208	5	31	3	天子生無師	208	14	31	3	天子生無師	208	14	31	3	提ケタヲヨ時キ	208	5	31	3	提ゲタヲヨトキガ	208	5
30	7	皆ナ此旨ニ	30	7	皆此ノ旨ニ	208	6	31	3	心ニ叶イ派	208	14	31	3	心ノ叶イ派	208	14										

31	4	我ガ日ニ逢羊タゾ	我日ニ逢イ用ダ	208	14	15	31	12	話頭ヲ問ワズ	話頭ヲ不問	210	7
		〔(ナシ)〕	同則 同頌 同云	208	2	2	31	13	兩釣ヲ食ダ呈	兩頭ヲ食タ呈ニ	210	8
31	5	問話ノ者ハ	問話ノ者ノハ	208	14	14	31	13	弄水タハヤ水ニ	縦ニ弄レ水ヲタハヤ水ニ	210	8
31	6	徳嶠孤峯	徳橋ノ孤峰	209	15	15	31	14	再吟	再吟ハ	210	9
31	7	サヤケキワ	サヤケキハ	31	7	7	32	1	飯ツテ呈セント	飯テ呈セヌト	210	10
31	7	牛日ノ天	午日ノ天	209	16	16	32	1	其ノクチヲ押サエテ	其口ヲ押エテ	210	11
31	7	三更ノ夜半ガ	三更ノ夜半カ	209	16	16	32	3	日モ正當デ	日モ午日正當デ	210	12
31	7	岸——収ム	岸——収	209	16	16	32	3	山ノ頂キヲバ	山ノ頂キヲ	210	12
31	8	イザ飯郎	イザ飯郎ウ	210	1	1	32	4	溪水庖ヲバ	溪底ヲバ	210	13
		〔33 4 5 6ニアリ〕	長蘆ノ了禪師…… 普灯九卷ニ在之	210	1	1	32	4	照サヌ者ダ呈ニ	照ヌ者ダ呈ニ	210	13
31	8	本則ノ句面ワ	本則ノ句面ハ	210	3	3	32	5	自己ヲ見タ	自己ヲミタ	210	13
31	8	定ツタホトニ	定タ呈ニ	210	3	3	32	5	正當ガ傾バ	正當ガ傾ケバ	210	14
31	8	今夜——棒ト	今宵不レ答話——棒ト	210	4	4	32	5	影ガ出デ	影ゲガ出デ	210	14
31	9	此話ノ究竟ダ	此ノ話ノ究竟デア郎ズ	210	4	4	32	6	爰ワナント云ヲウモ	爰ハナント云モ	210	14
31	9	徳——釣	徳山——兩釣ヲ	210	4	4	32	9	劫ト云ワ	劫ト云ハ	211	1
31	9	跨トモニ打ツタ	跨末跨共ニ打タ	210	5	5	32	9	悟リニ觸レ	悟リニフレ	211	2
31	9	下シ羊ダ	下シ用ダ	210	5	5	32	9	徳山一代ワ	徳山一代ハ	211	2
31	10	自得タト云ワ	自得ダト云ハ	210	5	5	32	10	滅レ吹ノ其ノ夜デ	吹滅ノ其夜デ	211	3
31	10	手ヲ借ツターデワ	手ヲ借ターデハ	210	5	5	32	10	此極暗獄ニ立テ	此ノ極暗獄ニ立テ	211	3
31	10	吾レト弄ノ	吾レト弄シタ	210	6	6	32	10	跨末跨トモニ	跨末跨共ニ	211	3
31	11	兩釣ニ垂ラヌガ	兩釣ニ乗ラヌガ	210	6	6	32	11	當タト云ハ	當ツタト云ハ	211	3
31	11	金鱗ノセヌガ	金鱗乗セヌガ	210	6	6	32	11	劫ニ傾タ処ヲ	劫ニ傾ク処ヲ	211	4

33	8	何サマ	何ニサマ	211	15	34	1	ノケタ	ノケタハ	212	5
33	8	佛殿ヲ折ク	佛殿ヲ折ク	121	15	34	1	クツト打ツブシテ	打ツブシテ	212	5
33	8	徳喬ニ住ノワ	徳橋ニ住ノハ	211	15	33	14	跨末跨ヲモ	跨ヲモ未跨ヲモ	212	5
33	8	金文ヲヤキ	金文ヲ焚キ	211	14	33	14	行処ヲモ見ヨ	行処ヲモミヨ	212	4
33	8	潭水ニ在ツテワ	潭水ニ在テハ	211	14	33	14	是ノミサエアルニ	是レノミサエ在ルニ	212	4
33	7	折却佛殿咬猪肉庖ノ	折却佛殿 <sup>タウ</sup> 咬 <sup>キヤク</sup> 猪肉 <sup>ノ</sup> 庖 <sup>ノ</sup>	211	13	33	14	引クツシテノケタ	引崩シテノケタ	212	4
33	7	臣等言葉ニ	臣等言ニ	211	13	33	13	徳山ニ <sup>(虫クヒ)</sup> 世シテワ	徳山ニ出世ノハ	212	4
33	6	普灯九卷在之	普灯九卷ニ在之	210	3	33	13	竜潭下デワ	竜潭下デハ	212	3
33	4	引長芦了禅師	長蘆ノ了禅師	210	1	33	12	巖ク打ツタ	巖シク打テ	212	3
33	4	ミ羊デハ無イカ	ミ羨デハ無イカ	211	12	33	12	猶ヲ當ツタ呈ニ	猶ヲ當タ呈ニ	212	2
33	3	跨末跨ニ落ヌ	跨末跨ニ落チヌ	211	11	33	12	踊ミ出ヌ処エ	踊ミ出ヌ処ニハ	212	2
33	3	自己ニ陶リ羊ダ	自己ニ陶リ羨ダ	211	11	33	12	元トヨリ	本トヨリ	212	2
33	3	立チ羊	立チ用	211	11	33	12	已前ニモ翻ツタ	已前ニモ翻タ	212	2
33	1	滞在スルバ	滞在スレバ	211	9	33	12	此棒ヲ出デヌ	此棒頭ハ新羅ヲ出ヌ	212	2
33	1	保チ用ダ	保チ羊ダ	211	9	33	11	爰ニ立ツテ於イテ	爰ニ立チ	212	1
32	14	直釣主ノ眼ト	真釣金鱗主ノ眼コト	211	8	33	11	其ノ日ガ暮レヌ	其日ガ暮レヌ	212	1
32	14	一法可与人無シテ	一法モ可レ与人無シテ	211	7	33	10	吹滅ノ其ノ夜ガ	吹滅下ノ其夜ガ	212	1
32	13	荅話セウズ <sup>ノ</sup> ガ	荅話シ羊ズ <sup>ノ</sup> ガ	211	6	33	10	徳山一代ワ	徳山一代ハ	212	1
32	13	翻タ白棒	翻ツタ白棒	211	6	33	10	今夜ト云ガ	今宵ト云ガ	211	16
32	12	傾タ <sup>ノ</sup> タ	傾ヌ <sup>ノ</sup> タ	211	5	33	10	アセハテタヨ	アセ果テタヨ	211	16
32	11	孤峯翠リ	孤峰ノ翠リ	211	5	33	9	宗正ガ溪邊ト	宗正ノ溪邊ト	211	16
32	11	於イタ時キ	於イタトキ	211	4	33	9	釣臺ワ	釣臺ハ	211	16
32	11	午日正當	午日正當	211	4	33	9	以テノ外	以テノ外力	211	15

34 | 10 仏見法見ヲ起ズガ  
 34 | 9 鉄囲ノ底ト見羊カ  
 34 | 8 和尚ヲニ鉄囲山  
 34 | 8 朦気也  
 34 | 7 佛殿ヲ立ヌトコソ  
 34 | 7 徳山ニ出世メワ  
 34 | 7 行脚ノ時キワ  
 34 | 6 佛殿ヲ不立  
 34 | 5 サテヨ  
 34 | 5 墨深ヲ着ノ者ガ  
 34 | 5 溪邊デ走ゾ  
 34 | 4 廣王ノ住ミ家  
 34 | 4 住ミナスガ  
 34 | 4 直ニ浦ノ釣臺ト  
 34 | 4 末エモ  
 34 | 3 達廣宗ワ  
 34 | 3 天地ニ翻ツタ  
 34 | 3 此獄悪ノ  
 34 | 3 現前デ走ゾ  
 34 | 2 カタキト成ツタ人ダ  
 34 | 2 真ニ  
 34 | 1 面ヲヲ出サセヌ

〔 (ナシ) 〕

佛見法見ヲ起スガ  
 漫天鼓ス黒風ヲ  
 大川濟和尚上堂  
 鉄囲ノ底コト見ヤウカ  
 先ツ和尚ヲシテニ鉄圍山  
 朦気ナリ  
 不立ニ佛殿ヲトコソ  
 出世ノ徳山ニ  
 行脚ノトキハ  
 佛殿ヲ立セヌ  
 サテダ  
 墨染ヲ著シタ者ガ  
 溪邊デ走  
 魔王ノスニ家  
 スミナスガ  
 浦ヲノ釣臺ト  
 末モ  
 達廣宗  
 天地ニ翻タ  
 此ノ獄悪ノ  
 現前デハ走ヌカ  
 カクキト成タ人ダ  
 直トニ  
 面ヲ出サセヌ

213 | 1  
 212 | 16  
 212 | 14  
 212 | 13  
 212 | 13  
 212 | 12  
 212 | 11  
 212 | 11  
 212 | 11  
 212 | 10  
 212 | 9  
 212 | 9  
 212 | 9  
 212 | 8  
 212 | 8  
 212 | 8  
 212 | 8  
 212 | 7  
 212 | 7  
 212 | 7  
 212 | 7  
 212 | 6  
 212 | 6  
 212 | 6

35 | 5 其ノ夜ノ一ヨ  
 35 | 4 鉄囲山ト云ワ  
 35 | 4 今夜ト云イ  
 35 | 4 理夏ノ沙汰ガ在ツテコソ  
 35 | 3 庭ヲフマヌ  
 35 | 3 終ニ  
 35 | 3 見タ  
 35 | 2 魚人ノ住家ヲ  
 35 | 2 末エモ品川浦ヲノ  
 35 | 2 沙汰ヲ知ラヌ  
 35 | 1 為ノ出デヌ処ヲ  
 35 | 1 廣泉ノ底ダゾト云ワ  
 34 | 14 サシアケ羊ダ  
 34 | 14 一ツ朶タ  
 34 | 13 酬ツタ羊ナガ  
 34 | 13 上エワ  
 34 | 13 流ノクレ羊ズ  
 34 | 13 眩向シテ  
 34 | 12 起シタ一ヨ呈ニ  
 34 | 12 兩釣ヲ弄スルワ  
 34 | 11 佛仰元ハ早ヤ  
 34 | 11 三十棒行ジタゾ在ルヲモ  
 34 | 10 三更ニ至テ於イテ

其ノ夜ノ一ダゾ  
 鉄囲山ト云ハ  
 今宵ト云イ  
 理事ノサタガアツテコソ  
 庭ヲ踏マヌゾ  
 終イニ  
 ミタゾ  
 魚人ノ住ミカラ  
 末モ品川浦ノ  
 サタヲ知ラヌゾ  
 為メノ出ヌ処ヲ  
 黄泉ノ底ダゾト云ハ  
 サシアケ羨ダ  
 サタハ無イゾ処ガ  
 一ツ手段ダ  
 酬タ用ナガ  
 上エハ  
 ナガシテクレ用ズ  
 眩向シ  
 起シタ一ヨ呈ニ  
 兩釣ヲ弄スルコソ  
 佛印元ハハヤ  
 二十棒行ジタゾアレヲモ  
 三更ニ立テ於テ

213 | 10  
 213 | 10  
 213 | 9  
 213 | 9  
 213 | 8  
 213 | 8  
 213 | 8  
 213 | 8  
 213 | 7  
 213 | 7  
 213 | 6  
 213 | 6  
 213 | 5  
 213 | 5  
 213 | 4  
 213 | 4  
 213 | 4  
 213 | 4  
 213 | 3  
 213 | 3  
 213 | 3  
 213 | 2  
 213 | 2

35	5	其ノ日ガ暮レヌ <sub>1</sub> タゾ	暮レヌ <sub>1</sub> タゾ	213	10	36	5	キサ <sub>1</sub> ンデハ	キサ <sub>1</sub> ンデハ	214	8
35	6	南泉願禪師示衆……	〔(ナシ)〕	36	5	你惠超三級一句ニ	任惠超三級一句ニ	214	7	214	7
9		去ントアル	〕	36	5	無端ホド	無 <sub>レ</sub> 端呈 <sub>二</sub>	214	8	214	8
35	11	御出デ無ク	御出ナク	36	6	漲ツタ	漲 <sub>タ</sub>	214	8	214	8
35	11	深花裏ヲ飛出ヌワ	深花裡ヲ飛出セヌハ	36	6	魚ハ竜ト化メガ	此ノ波先キデ魚ハ	214	9	214	9
35	12	大魔境トバシ	大魔ノ境トバシ	36	6	龍ト化シタガ	龍ト化シタガ	214	9	214	9
35	12	住ミナシタカ	スミナシタカ	36	6	三十三枚ノウロコヲバ	三十三枚ノ鱗コヲバ	214	9	214	9
35	12	魚ワ三級ノ波面	魚ハ三級ノ波面	36	6	一ツモ改メヌ	一ツモ改メヌ	214	9	214	9
35	13	本則ワ	本則ハ	36	7	ヨクンバ	ヨハクンバ	214	10	214	10
35	13	仏ト云テ方便門ニ	方便門ニ下ル	36	7	鱗ヲスリ落シ	鱗コヲスリ落シ	214	10	214	10
35	14	一佛ノフデワ無イ	一佛デハ無イカ	36	7	点額ニ逢ウズ	点額ニ逢ウズ	214	10	214	10
35	14	你惠超天生	汝惠超天生	36	8	痴人ヲ嫌イ	痴人ヲ嫌	214	10	214	10
35	14	是僧於此悟入	此僧モ於此ニ悟入	36	8	道ニ見ル <sub>1</sub> モ	道ニミル <sub>1</sub> モ	214	11	214	11
36	1	ヒスマス	ヒズマズ	36	8	在ルアレトモ	アル在レトモ	214	11	214	11
36	1	頌意ハ	頌モ	36	8	爰デワ嫌テハ見マイ	爰デハ嫌テハ見マイ	214	11	214	11
36	1	清凉院	清凉院ハ	36	8	痴人ワ卒度モ	痴人ハ卒トモ	214	11	214	11
31	2	佛法祖風ダアルガ	佛風祖風ダ在ルガ	36	8	伶俐ガ出ヌ	伶俐ガ出ヌ	214	11	214	11
36	2	你惠超吹起ヌ	汝惠超吹起ヌ	36	9	塘水ヲ汲ンデ	塘水ヲ昇ンデ	214	12	214	12
36	3	一果唯心ノ喚ガエタ	一顆唯心ノ喚換ダ	36	9	何 <sub>1</sub> ノワキマエモ無イ	ナンノワキマエモナク	214	12	214	12
36	3	鶇鳩ワ啼イタガ	鶇鳩ハ鳴イタカ	36	9	愚痴一片デ	愚痴一反デ	214	12	214	12
36	3	深花裏ヲ出ヌ	深花裡ヲ出ヌ	36	9	居タトキ	居タトキガ	214	12	214	12
36	4	深花裏ト云モ	深花裡トモ	36	10	未拳陽ダ	未拳揚ダ	214	12	214	12
36	4	空劫中ヲ指シタ	空中ヲ指シタ	36	11	衣仰タゾ	被 <sub>レ</sub> 仰タ	214	13	214	13
36	5	無クテワト云テ	無クテハト云テ	36	11	此句面デ	此ノ句面デ	214	13	214	13

36	11	法眼ノ家エワ
36	11	一烈聞エタ
36	11	洞上デワ
36	11	仏界广界ト
36	11	毫釐ノ差ヲ
36	12	上エニ入ツテ
36	12	大广ノ境ト
36	12	沙汰スル法眼ワ
36	13	急切ナニ依テ
36	13	入り派ガ
36	13	境イ目ガ無イ
36	14	空劫已前ダ
36	14	三更擊斥
36	14	ヒザガホグレヌ
37	1	明ケヌ時キ
37	1	軟暖ノ床ヲ
37	1	踏ミ出サヌ
37	1	深花裏ヲ出ス
37	2	吹キ起ヌ
37	2	深花裏ガ
37	2	大广ノ境デワ無イカ
37	3	本有ノ都ニ
37	3	内院トモ云イ
37	3	末エワ魚ワ
37	3	三級ノ波面ニヲトリ

214	14	法眼ノ御家ハ
214	14	一烈听エタ
214	14	洞上デハ
214	14	佛界魔界ト
214	14	毫厘ノ差ヲ
214	15	上エニ入テ
214	15	大魔ノ境ト
214	15	サタスル法眼ハ
214	16	急切ナニヨツテ
214	16	入派ガ
214	16	境イ目ガナイ
214	16	空劫以前ダ
215	1	三更撃ケドモ
215	1	ヒザガホクレズ
215	1	明ケヌトキ
215	2	軟暖ノ床コヲ
215	2	フミ出サズ
215	2	深花裡ヲ出デズ
215	2	フキ起ヌ
215	3	深花裡ガ
215	3	大魔ノ境デハナイガ
215	4	本有ノ城コ
215	4	内院トモ云イ
215	4	末エモ魚ハ
215	4	三級ノ波面ニヲドリ

214	14	痴人ワ
214	14	夜塘水ヲ汲ン
214	14	本鏡ヲ改メ
214	14	卒度モ拳陽せヌ処ガ
214	14	宗門デワ
214	15	吾ガ家ノ元日
214	15	此大ノ一字ヲ
214	15	心得ヲカシ
214	16	目ノ下ニ
214	16	此修行ノ一デ
214	16	對シテ
214	16	佛汝惠超
215	1	我レニ一口ニ吞尽
215	1	人ノ作処ニワ
215	1	南獄思大師因誌公令
215	2	有衆生可化
215	2	人傳語……何處更
215	2	本則ヲバ問ガ答ト
215	2	天性天然ノ一仏デ
215	3	マツ思大師モ
215	3	本ヨリ法眼ワ
215	4	御——ルニ依ツテ
215	4	打頭ノアタリ派ガ
215	4	ツト無端呈

215	14	痴人ハ
215	14	夜塘水ヲ屏ンデ
215	14	本鏡ヲ改ヌ
215	14	ソツトモ拳揚せヌ処ガ
215	15	宗門デハ
215	15	吾家ノ元日
215	15	此ノ大ノ一字ヲ
215	15	心得ヲカシ
215	15	目下タニ
215	15	此ノ修行ノ一デ
215	15	對メ
215	15	佛你惠超
215	15	我レニ一句ニ吞尽
215	15	人ノ做 <sup>サ</sup> 処ニハ
215	16	南獄誌公傳ノ本則
215	16	也 類 二卷
215	16	心ハ當則ハ問ガ答ト
215	16	天生天然ノ一佛デ
216	1	先ツ思大師モ
216	2	本トヨリ法眼ハ
216	2	御——ルニ依テ
216	3	打頭ノ當リ派ガ
216	3	ツト無端呈

215	14	痴人ハ
215	14	夜塘水ヲ屏ンデ
215	14	本鏡ヲ改ヌ
215	14	ソツトモ拳揚せヌ処ガ
215	15	宗門デハ
215	15	吾家ノ元日
215	15	此ノ大ノ一字ヲ
215	15	心得ヲカシ
215	15	目下タニ
215	15	此ノ修行ノ一デ
215	15	對メ
215	15	佛你惠超
215	15	我レニ一句ニ吞尽
215	15	人ノ做 <sup>サ</sup> 処ニハ
216	1	南獄誌公傳ノ本則
216	1	也 類 二卷
216	1	心ハ當則ハ問ガ答ト
216	1	天生天然ノ一佛デ
216	2	先ツ思大師モ
216	2	本トヨリ法眼ハ
216	3	御——ルニ依テ
216	3	打頭ノ當リ派ガ
216	3	ツト無端呈



38	2	空劫ノヒザヲホクサズ	216	3	38	10	山ヲ下ラズ	216	10	山ヲ下ラヌ	216	10
38	2	當頭ガツヨイホド	216	3	38	10	暗裏デ取ツタ	216	10	暗裏デ把ツタ	216	10
38	3	下ラヌ沘タ処ヲ	216	4	38	10	針リ先キタ	216	10	針リ先キタ	216	10
38	3	惠超咨法眼	216	4	38	10	此針リデ	216	11	此金針デ	216	11
38	3	謹デノ一問ワ	216	4	38	10	仏你惠超自目一牧ニ	216	11	佛你惠自目一致ニ	216	11
38	3	傳語ノ沘デワ	216	5	38	11	山ヲ下ラヌ人ノ	216	12	山ヲ下タラヌ人ノ	216	12
38	4	無イカ呈ニ	216	5	38	11	作処デワ	216	12	作処デハ	216	12
38	4	仏你惠超	216	5	38	11	你惠超一顆	216	12	佛你惠超一顆	216	12
38	4	爰ガ我レニ	216	5	38	12	見合タゾ	216	13	見合せタゾ	216	13
38	4	一口ニ吞尽ト	216	5				216	14	南嶽誌公傳ノ本則	216	14
38	4	見羊ズト云ツテ	216	6						也		
38	5	爰エ出生ズル呈ノ	216	7	38	13	元安独リ	217	3	玄安独リ	217	3
38	6	ノマレヌ者ハアルマイ	216	7	38	14	必ラズ別人ニ	217	5	必ズ別人ニ	217	5
38	7	向ウ見タ時キ	216	8	38	14	許ス一ナカレ	217	5	許ス一莫レ	217	5
38	7	教化救ウズ	216	8	38	14	心田号	217	5	心由ノ号	217	5
38	7	衆生ガアツテコソ	216	8	39	1	未荒善	217	6	未荒善	217	6
38	7	下ルツレノ化佛ヨ	216	9	39	1	三ニ四七傳來久	217	6	二三四七傳來テ久シ	217	6
38	8	山ヲ下ツタ	216	9	39	2	荒善セヌ	217	6	荒蕪セヌ	217	6
38	8	挙陽シタ	216	9	39	2	田園ト云ワ	217	7	田園ト云ハ	217	7
38	8	紅燭ノ外ト云ワ	216	9	39	2	傳來ダ	217	7	傳來ツタ	217	7
38	9	空劫暗夜ノ一ダ	216	9	39	3	浦洛此ノ田地ニ	217	8	洛浦ヲ此ノ田地ニ	217	8
38	9	生得秋声ワ寒イ	216	10	39	4	此田地ニ	217	8	此ノ田地ニ	217	8
38	9	陰蛩ワ	216	10	39	5	下シ羊	217	9	下シ羨	217	9
38	9	寒意ヲスタイタガ	216	10	39	5	則リヲ取ツタ	217	9	則ヲ取ツタ	217	9

37 11 12 ニアリ

南嶽誌公傳ノ本則也

42	7	折り柄ラ	218	6	43	2	今マ時キモ	218	14
42	6	堯天ノ為メデワ	218	5	43	1	道聴ク虚傳ト云ワ	218	14
42	6	奏シタワ濶キ	218	5	43	1	心得タガ好イ	218	14
42	6	近國遠邦ノハテヨリモ	218	4	43	1	経ヌ字タト	218	14
42	6	此話ノ究竟デ	218	4	43	1	旧イト云ハ	218	13
42	5	末必真ト云ウガ	218	3	43	1	新ナ一タト	218	13
42	5	言ニ道ニ聴ク虚傳	218	3	42	14	季々作ノ	218	13
42	4	合タゾ	218	3	42	14	肩陵ノ米ハ	218	13
39	10	六十棒 白雲端云	217	13	42	14	俄ニ改メタ一デハ無	218	12
		「……………ノ話ヨリ見	217	13	42	13	佛法大意ダ	218	11
		」	1413		42	13	終ニキ子ガ當ツテコソ	218	11
39	8	此心田ニ秀デタ	217	12	42	12	衣仰タワ	218	10
39	7	親子デ無クンバ	217	12	42	12	何ニ呈シテ走ト	218	10
39	7	其ノ家人入室ノ	217	12	42	12	肩一米ワ	218	10
39	7	唯受一人ト云ツテ	217	12	42	11	米イ國デ	218	10
39	7	此契書ニ至ツテハ	217	11	42	10	荅ル者ダ	218	8
39	7	別人ニ許スト云ハ	217	11	42	10	荅話ハ	218	8
39	6	書中ノ衷證	217	11	42	9	問意ハ何ニヲモ問エ	218	8
39	6	契書ノ挙シ羊	217	11	42	9	續灯在之	218	7
39	6	此ノ心ヲ鑑ルガ	217	11	42	8	引而向ニハ遠ク奏ニ飯一圖ヲ	218	7
39	5	古今トモニ	217	10	42	8	時モ時哉ナ	218	6
39	5	契書トワ	217	10	42	7	和氣ヲ報ジタニ	218	6
39	5	田園ヲ荒蕪セヌ	217	10					
39	5	契書トハ	217	10					
39	5	古今共ニ	217	10					
39	5	此ノ心ヲ鑑ミルガ	217	10					
39	5	契書ノ挙シ用	217	10					
39	5	書中事證	217	10					
39	5	別人ニ許スナト云ハ	217	10					
39	5	此ノ契書ニ至テハ	217	10					
39	5	唯受一人ト云テ	217	10					
39	5	其家人入室ノ	217	10					
39	5	親子デナクンバ	217	10					
39	5	此ノ心田ニ秀デタ	217	10					
39	5	荒蕪ハアレルトヨム也	217	10					
39	5	「……………ノ話ヨリ見	217	10					
39	5	」	1413						
39	5	(ナシ)							
39	5	言々道々聴ク虚傳	217	10					
39	5	末必真ト云ウガ	217	10					
39	5	此ノ話ノ究竟デ	217	10					
39	5	近國遠邦ノハラヨリモ	217	10					
39	5	奏シタハ今マノ天下	217	10					
39	5	モ濶ロキ	217	10					
39	5	堯天ノ為メシデハ	217	10					
39	5	折り柄ラ	217	10					

43	2	云テ透ル <sub>ト</sub> ニ	218	14	44	1	潤イト云ハ	219	12
43	2	真ノ <sub>ト</sub> ハ	218	15	44	1	物ノセワシク	219	12
43	3	是非理也ヲ説ク	218	15	44	2	道体ノ <sub>ト</sub> ヨトキガ	219	13
43	3	真実トハ生ズ	218	16	44	3	白米デワ無イカ	219	14
43	4	岐路ト云ワ	219	1	44	3	サテ悟辺ガ	219	14
43	5	打ツ喝ツ	219	1	44	3	糝糠ノ立ツタ <sub>ト</sub> ダ	219	14
43	5	肩 <sub>ト</sub> 價ソト	219	2	44	4	此ノ羊ナ御代ニワ	219	14
43	6	真路一筋デ	219	3	44	4	其ノ <sub>ト</sub> 俚ヲ乱サヌ者タ	219	15
43	7	居タ人計リノ	219	4	44	5	咲ミ打チ含ンテ	219	16
43	7	<sub>ト</sub> デハ無イ	219	4	44	6	太平ノ時代デハ走ヌカ	220	1
43	7	磨ラス琢ス	219	4	44	6	御喜色ト云ガ	220	2
43	8	是ヲ本来人トモ	219	5	44	7	本来人ノ眼ザシヨ	220	2
43	8	此眼サシワ	219	5	44	7	民ミト云ハ	220	3
43	9	溪トミタ <sub>ト</sub> ダ	219	6	44	7	スラスミガ <sub>ト</sub> ズ	220	3
43	9	見用デワアレ	219	6	44	9	一言ナ郎ニハ	220	8
43	9	再吟ワ	219	6	44	10	茂ゲミニ到ルマデ	220	9
43	9	時代迄デワ	219	7	44	10	何レカ圓カナラザル	220	9
43	10	末直グニ紹イテ	219	7	44	10	青原ハ嶺南ノ	220	10
43	11	一ツ肌エデワ無イカ	219	8	44	11	ツイニ門裡ヲ	220	11
43	11	肩 <sub>ト</sub> 價イゾト云	219	9	44	11	今日大意ト	220	11
43	12	此谷処ヲ	219	9	44	12	戸 <sub>ト</sub> 米作 <sub>ト</sub> ノ價イゾ	220	11
44	1	天下當今ノ御代ガ	219	10	44	12	ヲセラレタ	220	12
44	1	其ノ <sub>ト</sub> 俚堯舜ノ	219	11	45	1	佛法ノサタナイガ	220	15

45 | 1 韓幹馬戴嵩ガ  
 45 | 2 愚魯ノ性ガ  
 45 | 2 四百州ト  
 45 | 2 利ガ出ズンバ  
 45 | 2 夫レデハ咬ミチガエタ  
 45 | 3 緑楊草<sub>レ</sub>芳ノ  
 45 | 4 カドノ出ズ  
 45 | 4 欠道ノ無イ<sub>ト</sub>タ  
 45 | 4 私シト云ワ  
 45 | 5 佛法ノ沙依ハ  
 45 | 5 無イ<sub>ト</sub>ダ  
 45 | 6 畢竟一言ト云モ  
 45 | 6 爪牙ト云モ  
 45 | 7 断臂——難ト於イタ

〔(ナシ)〕

221 | 15 夢モ見ルベキ  
 221 | 14 引テ鳥羽玉ノ  
 221 | 13 誰——竿一ケモ得ヌ  
 221 | 13 閻浮海ハ  
 221 | 12 夕部ハ  
 221 | 12 眼睛デア<sub>ラ</sub>ズ  
 221 | 11 於イタガ  
 221 | 6 断臂難<sub>レ</sub>於<sub>モ</sub>立雪ノ難ト  
 221 | 5 〔……清風案可<sub>レ</sub>北〕  
 221 | 4 爪牙ト云ハ  
 221 | 3 畢竟一言ト云イ  
 221 | 2 ナイ<sub>ト</sub>ダ  
 221 | 2 佛法ノサタハ  
 221 | 2 私シト云ハ  
 221 | 1 欠道ノナイ<sub>ト</sub>ダ  
 221 | 1 カドノ出デズ  
 220 | 16 緑楊芳草ノ  
 220 | 16 ソレハ咬ミチカエタ  
 220 | 15 利根ガ出スレバ  
 220 | 15 サテ四百州ト  
 220 | 15 愚魯ノ性ダ  
 220 | 15 韓幹ガ馬戴嵩ガ

46 | 3 窮源片際無イ  
 46 | 3 此ノ正當直下ワ  
 46 | 3 打落シテ 竟イニ  
 46 | 2 出ヌ処ガ  
 46 | 2 了チ入ツテ  
 46 | 1 覓心——安ナラン  
 46 | 1 難易<sub>ト</sub>ガ有ル  
 45 | 14 断臂ヨ 立雪ヨリモ  
 45 | 14 心口得タガ好イ  
 45 | 14 爰デワ  
 45 | 13 立雪<sub>ヨリモ</sub>於難イト誦ム  
 45 | 13 諸方デワ断臂難ハ  
 45 | 12 不可得安心ワ刀鋒  
 45 | 12 裏ガ相統ダ  
 45 | 12 達<sub>レ</sub>广安心ワ  
 45 | 12 刀鋒下正當  
 45 | 11 断臂安心達<sub>レ</sub>广安心  
 45 | 10 本則ハ一則ノ内  
 45 | 10 チデ

〔不可得安心ワ刀鋒  
 向上ノ  
 (消セ見チ)〕

222 | 5 窮源片際無イ  
 222 | 5 此正當直下ハ  
 222 | 5 打落ノ 竟ニ  
 222 | 4 出デヌ処ガ  
 222 | 4 了チ入テ  
 222 | 4 覓心——安  
 222 | 3 難易<sub>ト</sub>ガ在ル  
 222 | 3 断臂ヨリモ立雪ヨ  
 222 | 2 心得タガヨイ  
 222 | 2 爰デハ  
 222 | 2 於<sub>レ</sub>リモ立雪ニ難シトヨム  
 222 | 1 諸方デハ断臂ノ難ハ  
 222 | 1 不可得安心ハ向上  
 221 | 16 裏<sub>ラ</sub>ガ相統ダ  
 221 | 16 達<sub>レ</sub>——心ハ  
 221 | 16 刀鋒下ノ正當  
 221 | 14 断臂安心ハ  
 221 | 15 本則ハ断臂安心達  
 221 | 15 广安心ト一則ノ内デ

46	4	數興デ	數興 <small>ヌ</small> デ	222	6	47	3	髓 <small>ヰ</small> デハ在ツテコソ	髓 <small>ヰ</small> デハ在テコソ	223	3
46	4	此芦——境ノ	此ノ芦——境ノ	222	6	47	3	末ワ作者ノ	末 <small>エ</small> ハ作者ノ	223	3
46	5	濱邊ニ	濱邊ニ	222	6	47	4	兩尊 <small>ル</small> 処 <small>エ</small>	兩尊ノ <small>ル</small> 処 <small>エ</small> ノ	223	3
46	5	二祖覓——得く	二祖モ覓——得く	222	7	47	4	縦イ <small>間</small> ミノウツムデモ	タト <small>エ</small> ヤミノウツムデモ	223	4
46	6	難易デワ無イカ	難易デハ無イカ	222	8	47	5	釣竿 <small>ワ</small>	釣竿ハ	223	4
46	6	鳥羽玉ト云ワ	鳥羽玉ト云ハ	222	8	47	5	釣りニ垂ツタラバ	釣りニ乗ツタラバ	223	4
46	6	舟子トハ	舟トハ	222	9	47	5	魚 <small>鰲</small> ヨ呈ニ	魚 <small>鰲</small> ヨ呈ニ	223	5
46	8	ナケレバナラヌト云ハ	ナケレバナラヌト云	222	10	47	6	胸旨ノザ <small>ヅ</small>	胸旨ノサ <small>ヅ</small>	223	5
46	8	カツくト澄ミ渡ツテ	カツカトスニ渡ツテ	222	10	47	7	立雪ヨリモ	立雪ヨリ	223	6
46	9	魚ガヲソレテ	魚ヲガヲソレテ	222	10	47	7	畢竟ノラヌガ	畢竟乗ラヌガ	223	7
46	9	深潭ニ沉ム物ダ呈ニ	深潭ニ沉ム物ノダ呈ニ	222	10	47	8	李陵ハ <small>沃</small> 下ノ一將	李陵ハ沃下ノ一將	223	12
46	10	夢ヲ見羊ズト	夢ヲ見用ズト	222	11	47	8	青華 <small>蔽</small> ワ	青華蔽ハ	223	12
46	10	此歌ヲ名近達チハ	此ノ歌タヲ名君達チハ	222	11	47	9	唱和ノ地ニ	唱和ノ地	223	13
46	10	ト云計リヲ	ト云斗リ	222	12	47	10	方丈裡ノ趣キヲ	方丈裡ノ趣キヲバ	223	14
46	11	用イ羊ハ	用イ用ハ	222	13	47	10	勅 <small>キ</small> 役ノ地デ	勅 <small>キ</small> 役ノ地デ	223	14
46	12	トスル間ワ	トスル間タハ	222	14	47	10	諳シテ於イタ <small>ヅ</small>	諳シテ於イタ <small>ヅ</small>	223	14
46	13	無端ニ依テ	ハシナイニ依テ	222	15	47	10	天童 <small>录</small> 在之	天童ノ录ニ	223	15
46	14	打落シテ	打落メ	222	16	47	11	先 <small>ヅ</small> 本則ハ	マ <small>ヅ</small> 本則ハ	223	15
46	14	閻浮海ワ	閻浮海ハ	222	16	47	12	唱エ被 <small>レ</small> 成ルムカ	唱エ被 <small>レ</small> 成ルムガ	224	1
46	14	ヤミノウツムト	ヤニノウツムト	222	16	47	13	向ウ見ルハ	向見ルハ	224	1
47	1	未 <small>間</small> ミト	末 <small>ツ</small> 間ミト	222	16	47	13	録意句面デ	録意句面デ	224	2
47	1	成ツタ在レ <small>凡</small>	成ツタアレドモ	223	1	47	14	見羊 <small>ワ</small>	見羊ハ	224	2
47	2	二祖モ達 <small>凡</small> ノ	二祖達 <small>凡</small> ノ	223	1	47	14	誰レガ家ト云ツテ	誰家ト云テ	224	2
47	2	少シモ	少シモ	223	2	47	14	济下ノ <small>レ</small> デ <small>ワ</small> 無イ	济下ノ <small>レ</small> デハナイ	224	3

48 11	48 11	48 11	48 9	48 8	48 8	48 8	48 7	48 7	48 7	48 5	48 5	48 4	48 2	48 4	48 3	48 1	48 1	48 1	48 1			
洺節トムズト	片足キラレテ	生取レテ	胃ヲ引ツ立テム	功位君臣ト段々ニ	サテワ	荅話衣成タワ	洺ウハハルカダ	一句ト云ワ爰デワ	一句——胃玄ニ——林	血脉ノ一ダ呈ニ八十ノ翁々ト数年功作ヲ経尽クテ大功成就	大功成就処デ	八十ノ翁々ト	八十ノ翁々トツト	緜愁ト云ワ	大功ト云タトキ	沙汰ハ無イ処ヲ	嗣続ノ一ダ呈ニ	云ウノ洺ダ	此誰ソノ曲ヲ			
洺節ヲムズト	片足アシギラレテ	生取レテ	胃ヲヒツ立テム	功位君臣十段々ニ	サテハ	荅話被レ成タハ	洺ウハハルカ	一句ト云ハ爰デハ	一句——胃三玄——林ニ	(ナシ)	大功成就ノ処デ	八十翁々ト	八十翁々トツト	マツ緜愁ト云ハ	大功トミタトキ	功ノ沙汰ハ無イ処ヲ	嗣続ノ一ダ呈ニ	云ノ洺ダ	此ノ誰ソノ曲ヲ			
224 13	224 13	224 12	224 11	224 10	224 10	224 10	224 9	224 9	224 8 9		224 7	224 7	224 4	224 6	224 5	224 5	224 4	224 3	224 3			
49 9	49 8	49 8	49 7	49 7	49 7	49 6	49 5	49 5	49 5	49 4	49 3	49 2	49 2	48 13	48 13	48 12	48 12	48 12	48 12			
物深ク覆ウテ	鳥リノ巢ナドモ	春夏ノ間タワ	是モ秋ノ句ダ	穩ナ者ダ呈ニ	重ナルニ随ツテ	炎焚ノ時分ワ	長スルニ依ツテ	春夏ノ間ワ	投子ノ拈処ワ	离レヌ一ダ	時キノ證拠人	嗣続傳底ノ坊主ワ	用処ハ在ツテコソ	通シタ郎ニハ	洺王ノ一デワア郎ズ	上面ラダ	爰ヲモ走ウ計リ見テワ	元是ト云ワ	家風ヲ紹イイデワ	臣下ダト云ワ	胡國ニ在ツテモ	脇挾デ
物深ク覆テ	鳥リノ巢杯モ	春夏ノ間ハ	是レモ秋ノ句ダ	穩ナ者ダ呈ニ	重ナルニ随テ	炎熱ノ時分ハ	長ズルニ依テ	春夏ノ間ダハ	投子ノ拈処ハ	离レタ一タ	時ノ證拠人	嗣続傳底ノ坊主ハ	用処ハ在テコソ	通シタ勞ニハ	洺王ノ一デハア勞ズ	上面ダ	爰モ走斗リミテハ	元是ト云ハ	宗風ヲ続イデハ	臣下ダト云ハ	胡國ニ在テモ	胸挾デ
225 9	225 9	225 8	225 8	225 7	225 7	225 6	225 5	225 5	225 5	225 4	225 3	225 3	225 2	225 2	224 16	224 15	224 15	224 15	224 14	224 14	224 13	224 13

49	9	秋ニ至テワ	225	9	50	5	是モ陰	226	4	是レモ陰ノ	226	4
49	9	落尽シテ	225	9	50	5	聞キ耳タ在ルガ	226	4	キ、耳タ在ルガ	226	4
49	9	空巢ト成ツテ	225	10	50	6	誰カ家ニカ落ツト	226	4	誰家ガ落ント	226	4
49	10	キラリツト	225	10	50	6	砧声響ヌ処ガ	226	4	砧声ノ響力ヌ処ガ	226	4
49	10	是モ秋ノ句ダ	225	10	50	6	アルト云ワ	226	5	アルト云ハ	226	5
49	10	御家デワ	225	10	50	7	誰ソノ本居ト	226	5	誰ノ本居ト	226	5
49	11	極リダト云ワ	225	11	50	7	頌ジタソ	226	5	頌ジタ	226	5
49	11	八十ノ翁々ト	225	11	50	7	八十ノ翁々ト云ウガ	226	6	八十翁々ト云ガ	226	6
49	11	本位タイガアル	225	12	50	8	血戦益代ノ	226	6	血戦益代ノ	226	6
49	12	物深イワ	225	12	50	8	王道デワ	226	7	王道デハ	226	7
49	13	カコマンワ	225	13	50	8	將軍ノ令ウ	226	7	將軍ノ令	226	7
49	13	向ウ見ルカムリモ	225	13	50	8	宗旨デワ	226	7	宗旨デハ	226	7
49	13	在ルトモ <small>（「ル」ノ「ノ」ヲ消シテ「レ」）</small>	225	13	50	9	此ノ地デ	226	8	此地デ	226	8
49	14	走見テハ	225	14	50	11	首座ノ位イデ	226	9	首座ノ位デ	226	9
49	14	頌意ワ月裡ワ	225	14	50	11	向上ノ主人	226	9	向上主人	226	9
49	14	陰草ワ	225	14	50	11	翁ニ付イタゝダ	226	9	翁ニツイタゝダ	226	9
50	1	兼子タ在レドモ	225	15	50	11	一烈臣下分上	226	9	一烈臣分上	226	9
50	3	陰ニモ陽ニモ落チヌ	226	1	50	12	徧正引ソロエテ	226	10	陰陽徧正ヒツソロエテ	226	10
50	3	鷹リワ	226	1	50	12	弄ズルガ	226	10	弄ズルガ	226	10
50	4	陽ダ在ルガ	226	2	50	13	勤役ノ地	226	11	勤役ノ地	226	11
50	4	回ツテ後ト云ワ	226	3	50	14	紛レヌ	226	11	紛ンヌ	226	11
50	5	四方ノ内チデモ	226	3	50	14	砧声——家ト云ガ	226	12	砧——家カト云カ	226	12
50	5	本位ニ取ツテ	226	3	50	14	誰ソノ本居ダ	226	13	誰ノ本居ダ	226	13
50	5	砧タワ秋ノ	226	3	51	1	爰ワ句外沙汰	226	13	爰ハ句外沙汰	226	13

51	1	諳ジテ於イタト云ワ	諳ジテ於イタト云ハ	226	14	51	13	大小ノ雲門	大唐叟云 大小ノ雲門	228	3
51	2	唱エ収メタ <sub>レ</sub> ヨ	唱ヘ収タ <sub>レ</sub> ヨ	226	14	51	14	アラマシガハ	在ラマシガバ	228	4
51	3	在ルト云ワ	在ルト云ヲバ	226	15	51	14	向韶陽大師莫礼道	向テ韶陽大師ニ莫レ乱 <sub>レ</sub> 道ス <sub>レ</sub>	228	5
51	3	因ニハ	因ミハ	226	15						
51	3	移ツテハ在レトモ	移テハ在レドモ	226	16	51	14	ツカウズ者ヲト云ウ	ツカウズ者ヲト云	228	5
51	4	謝首座トト云ノ	謝首座トト云	226	16	52	1	寂寥タル	寂寥タル	228	5
51	4	見合スルナリ	見合せタソ	227	1	52	1	追慕シテ	追慕シテ	228	6
51	5	遠銀公答処ヲ	遠録公答處ヲ	227	6	52	2	正ウ走ウズ	正走ズ	228	6
51	1	兩家兼稟ノ旨	兩家兼稟ノ旨	227	6	52	2	此僧ノ一門モ	此ノ僧ノ一問モ	228	7
51	6	此巴鼻ヲバ	此ノ巴鼻ヲバ	227	7	52	4	繋縛セラレタワ	繋ヲ縛セラレタハ	228	8
51	6	鶏ガ報ジ出タソ	鶏鳴ガ報ジ出シタソ	227	7	52	4	夫ヲコソ乱道トワ	ソコヲコソ乱道トハ	228	8
51	6	引云	句云	227	7	52	4	今ニヤウノ	今マヤウノ	228	9
51	7	望眼迷拈華微笑賊身露	望眼迷ウ拈花 微笑賤 <sub>レ</sub> 身露 <sub>ル</sub>	227	7	52	5	生死ノ兩頭ヲ	生死ノ兩路ヲ	228	9
51	7	洞上デワ	洞上デハ	227	8	52	5	トミレバマタ	ト見レバマダ	228	9
51	8	尽ヲ功青天ト	尽ノ功青天ト	227	8	52	5	鶻鼻頭ヲステカ子タゾ	鶻鼻頭ヲ捨テカ子タゾ	228	9
51	8	世尊拈処	世尊ノ拈処	227	9	52	5	夫コソ	ソレコソ	228	10
51	9	濟下	濟下ハ	227	9	52	6	向ウ酸ウ底ワ	向 <sub>レ</sub> 酸 <sub>レ</sub> ウ底ハ	228	10
51	9	初ヨリ	初メヨリ	227	9	52	6	不聴ノ性虚体空ノ旨ニ	不 <sub>レ</sub> 會 <sub>レ</sub> ノ性虚体 空寂ノ旨ニ	228	10
51	10	爰ワ	爰ハ	227	10					228	11
51	11	西家トモニ	兩家共ニ	227	11	52	6	叶テ於カズンバ	叶ワズンバ	228	11
51	11	一枚至本不二ヨ	一枚至本不二ヨ	227	11	52	6	向ウ酸ハレマイゾ	酸 <sub>レ</sub> ワレマイゾ	228	11
51	11	清虚迷イ	清虚ノ迷イ	227	12	52	7	未佛事ノ因ナ	末 <sub>レ</sub> エハ佛事ノ因ナ	228	11
15	22	差ヲ分ヌ処ヨ	差ヲ分タヌ処ヨ	227	12	52	8	生死ノサタ無イ	生死ノサタナイ	228	12



52 | 8 立テ於テ  
 52 | 9 鴈リ兩行  
 52 | 9 点シ羊タヅ  
 52 | 9 此三四ノ句ヲ  
 52 | 10 冷湫々池去奪人  
 52 | 10 此寂寥タル  
 52 | 11 追慕シノテ  
 52 | 11 其ノ矣跡ト云ハ  
 52 | 11 基ノ一デ  
 52 | 12 或イワ  
 52 | 12 兩行タゾト云ガ  
 52 | 13 古寺ノ基エ到ル  
 52 | 13 此路頭ニ立チ生チ  
 52 | 13 至ラズンバ  
 52 | 14 掃地シ羊タ  
 53 | 1 圭厩ノ御参ニ  
 35 | 1 芭蕉零落  
 53 | 1 岁  
 53 | 2 如何是不聽ノ相ヤ  
 53 | 2 是モ法門ノ心口ト  
 53 | 3 西來意ト問エバ莫  
 53 | 4 本則ハ

立テ於イテ  
 鴈兩行  
 点シ用タヅ  
 此三四句ヲ  
 冷湫々地去奪人  
 此ノ寂寥タル  
 追慕シノテ真ノ  
 矣跡ヲ正シタフダ  
 真ノ矣跡ト云ハ  
 基ノ一デ  
 或ハ  
 鴈リ兩行ト云ガ  
 古寺ノ基エ到ル  
 此路頭ニ立チ  
 到ラズンバ  
 掃地シ羨タ  
 圭厩御参ニ  
 芭蕉零落シ  
 拶  
 如何是不壞相代  
 是レモ法門ノ心ト  
 西來ト云ノ答話也  
 當則ハ

228 | 13  
 228 | 13  
 228 | 14  
 228 | 14  
 228 | 14  
 228 | 15  
 228 | 15  
 228 | 15  
 228 | 16  
 229 | 1  
 229 | 1  
 229 | 1  
 229 | 2  
 229 | 2  
 229 | 2  
 229 | 3  
 229 | 3  
 229 | 4  
 229 | 4  
 229 | 5  
 229 | 6  
 229 | 6

53 | 6 金風トワ  
 53 | 6 実木バカリデ  
 53 | 7 向ウバカリ見テワ  
 53 | 7 字面付キダ  
 53 | 8 雲門下デ  
 53 | 8 樹洞ト云ワ  
 53 | 8 百骸——散ノ  
 53 | 9 体露金風ト云ワ  
 53 | 9 体ワ無イ  
 53 | 10 体ト云ワ  
 53 | 11 全体堅箇ノ相ヲ  
 53 | 11 見タゾ  
 53 | 11 此体ニ尽キ派ハ  
 53 | 11 在ツテコソ  
 53 | 11 見ル則ンバ  
 53 | 12 理把ガアラバ  
 53 | 12 識身ヲ認メ  
 53 | 13 シゲツタヲヨ  
 53 | 13 理把ノ付カヌ処ガ  
 53 | 13 虚体不會ノ相ダ  
 53 | 13 兩羊ニ見ルヲダ処ヲ  
 53 | 14 黄龍ノ心ワ  
 53 | 14 大小ノ雲門デ  
 御——ルガ

金風トハ  
 実木バカリデ  
 向ウバカリ見テハ  
 字面付キダ  
 宗門デ  
 樹洞ムト云ハ  
 百骸潰散ノ  
 体露ニ金風ト云ハ  
 体ハ無イ  
 体ト云ハ  
 全体堅固ノ相ヲ  
 見タフダ  
 此ノ体ニ尽派ハ  
 アツテコソ  
 見ルトキンバ  
 理把ガアラバ  
 識身ヲ認メ  
 シゲツ  
 茂ツタヲヨ  
 理巴ノツカヌ処ガ  
 虚体不聽ノ相ダゾ  
 兩様ニ見ルヲダソ処ヲ  
 黄龍ノ心ハ  
 大小リノ雲門デ  
 御サアルガ

229 | 8  
 229 | 9  
 229 | 10  
 229 | 10  
 229 | 10  
 229 | 11  
 229 | 11  
 229 | 11  
 229 | 12  
 229 | 12  
 229 | 13  
 229 | 13  
 229 | 14  
 229 | 14  
 229 | 14  
 229 | 14  
 229 | 15  
 229 | 16  
 229 | 16  
 229 | 16  
 230 | 1  
 230 | 1  
 230 | 2

53	14	此僧ノ境ヲ以テ	230	2	54	12	五里ニ在ルヲ	230	13
54	1	生死ノ尽派ヲ	230	2	54	12	短亭ト云タソ	230	14
54	1	荅エラレタワ	230	2	54	12	人ヲ送ルニハ	230	14
54	2	頭惱ワ	230	3	54	12	其ノ長亭迄デ	230	14
54	2	吾レニ樹凋ミ	230	4	54	12	其コデ	230	14
54	3	問タ郎ニワ	230	4	54	13	送り放シテ	230	15
54	4	残ラスゾ爰ヲ	230	5	54	13	人千里ダゾト云テ	230	15
54	4	雪堂行ワ	230	5	54	14	爰デハ	230	15
54	4	向句理縛殺セラル	230	5	54	14	樹凋ミ葉落ル時節ガ	230	16
54	5	此句理ニツナガレタゾ	230	6	54	14	時節ダゾト云ハ	230	16
54	6	境上縛殺ト	230	7	54	14	自己ノ鶻臭頭ニ	230	16
54	6	爰ヲ雪堂行ハ	230	8	55	1	離別シタレバコソ	230	16
54	7	珊瑚月	230	8	55	1	此ノ夕部ハ	231	1
54	7	云ツテ	230	9	55	1	モノスゴイ	231	1
54	8	殺ラルム	230	9	55	2	兩行砧タハ	231	2
54	8	是ヲ	230	9	55	2	秋ノモノダ	231	3
54	9	葉落樹凋処デ	230	10	55	3	人ヲハナレ	231	3
54	10	韶陽ノ	230	10	55	3	無人ノ境トナツタ	231	3
54	10	真面目不會ノ	230	10	55	3	マダ鶻臭頭ガ	231	3
54	10	三四ハレ句	230	11	55	4	マダ生死人ダゾ	231	4
54	10	十里一亭五里一亭ト	230	12	55	4	砧ヌタゾ鴈兩行	231	4
54	11	ト云ツテ	230	12	55	4	鳥道無心ニ	231	4
54	11	一里塚ノ羊ニ	230	12	55	5	此句面ハ	231	5
54	11	十里ニ亭一ツ	230	12	55	5	本則句面トハ云ワヌゾ	231	5

55	5	参話ワ体ヲ	参話ノ体ヲ	231	5	56	3	衣仰古ルシタ呈ニ	被 <sub>レ</sub> 仰古シタ呈ニ	232	6
55	6	云イ露スナリ	云イ露シタゾ	231	6	56	4	記スル及ヌ	記スルニ及ヌ	232	6
55	7	白楊順ワ終始	白楊順ハ始終	231	7	56	4	双放雙収ワ	双放雙収ハ	232	6
55	8	葉落——休	葉落——休	231	8	56	4	或ル時キワ	或ル時キハ	232	7
55	9	向ウコソ	向コソ	231	9	56	4	或ルトキワ	或ル時キハ	232	7
55	10	夫徒縁有者	夫 <sub>レ</sub> 從 <sub>レ</sub> リ縁有ナル者ハ	231	9	56	5	趙劬ノ兪関ダ	趙劬ノ機関ダ	232	7
55	10	夫徒縁非有者	夫 <sub>レ</sub> 從 <sub>レ</sub> リ縁非有者ノハ	231	9	56	5	此関門ヲ	此ノ関門ハ	232	7
55	10	歴劫長堅 普灯ニ在之	歴劫ニ而長堅傳灯ニ在之	231	10	56	5	上テ立ツシタ <sub>レ</sub> ダ	上エテ立シタ <sub>レ</sub> ダ	232	8
55	11	葉落樹凋ト云ワ	心ハ葉落木凋ト云ハ	231	10	56	6	趙劬ノ関ワ	趙劬ノ関ハ	232	9
55	11	敗壞ニ預ル	敗 <sub>レ</sub> 壞ニ預 <sub>ル</sub> <small>アツカ</small>	231	11	56	7	立ツセヌトキガ	類セヌトキガ	232	9
55	12	卒度モ	ソツトモ	231	12	56	8	爰ヲ	爰ハ	232	10
55	12	生滅敗壞ノ沙汰ワ	生滅敗壞ノサタハ	231	13	56	8	此高処ニ上ツテ	此ノ高処ニ上テ	232	11
55	12	無イゾ	ナイゾ	231	13	56	9	東シニ流タ	東シニ流レタ	232	11
55	13	長亭ノ月——兩行	長亭——西行	231	13	56	9	平生ニ落チ付イテ	平生ニ落付テ	232	12
55	13	此ノ句中ニ	此句中ニ	231	13	56	9	ヒツマスガ	ヒズマスガ	232	12
55	13	鶻臭頭ワ	鶻臭頭ハ	231	14	56	10	此一頌ヲ	此ノ一頌ヲ	232	12
55	14	塔銘ノキリハメ羊デワ	塔ノ銘ノチリバメ羊デハ	231	14	56	10	指出シテ	指シ出シメ	232	12
56	1	海門江上ト	海門ノ高處ト	231	3	56	11	ト云タニ	ト云ニ	232	13
56	4	波斯国道デ	波斯國道デ	232	4	56	11	一ト修行在ル <sub>レ</sub> ダ	一ト修行アル <sub>レ</sub> ダ	232	14
56	2	舒掃捲シテ	舒 <sub>シヨ</sub> 掃 <sub>シテモ</sub> 捲シテモ	232	5	56	12	合道ト云ツテ	合 <sub>レ</sub> 道ニト云テ	232	14
56	3	裁縫ワ	裁縫ハ	232	5	56	12	只タ境イ目ノ無イ	只境イ目ノナイ	232	15
56	3	一頌ワ	一頌ハ	232	5	56	12	返常徑ガ	常ヲ返ス徑チガ	232	15
56	3	開キ羊タゾ	開キ羊タ	232	6	56	12	トツト無端ニ依テ	トツト端シ無イニ依テ	232	15

57 7	平生云一ヨ	平生モ云一ダ	233 8	58 3	作者ワ	作者ハ	234 3
57 6	余ツタ処ワ無イ	余ツタ処ハ無イ	233 8	58 2	叢林ノ陞出ト	叢林陞出ト	234 2
57 5	在ツテコソ	アツテコソ	233 7	58 2	備タ郎ニハ	備タ郎ニハ	234 2
57 5	被在セヌ者ハ	秘在セヌ者ハ	233 7	58 1	総ウ崩シト	総崩レト	234 1
57 5	蠢動含天	蠢動含天	233 7	58 1	知不到向上デワ	知不到向上デハ	234 1
57 5	下モワ	下モハ	233 6	57 14	本無當着中デワ	本無當着中デハ	233 16
57 5	上ミワ	上ミハ	233 6	57 14	脱体ノ道	初メハ脱体ノ道	233 16
57 4	被在シタ	秘在シタ	233 6	57 13	奥ク端シ	奥端シ	233 14
57 4	或ル時ハ無ト云イ	或時ハ無ト空劫今時	233 5	57 12	無ケレバ	ナケレバ	233 14
57 4	或時ハ有ト云イ	或時ハ有	233 5	57 12	爰ニ至ツテハ	爰ニ至テハ	233 14
57 4	東ノ一ダ	東マノ一ダ	233 5	57 12	一條ヨ	一條ノ白練去ヨ	233 14
57 3	指シタ波斯國ト云ワ	サシ波斯國ト云ハ	233 4	57 11	水ハ千江万波ト	千江万波ト	233 13
57 3	有本都コ	本有ノ都コ	233 4	57 10	夫レワ	夫レハ	233 11
47 1	趙劬城ト云ワ	趙劬城ト云ハ	233 4	57 10	哉縫デ走	哉縫デ走	233 11
57 1	其ノ侃ノ白ラ繪ヌデ	其侃ノ白ラ繪ンデ	233 2	57 9	嫌イ道ガ	嫌イ道チガ	233 11
57 1	此白縛ワ	此ノ白練ハ	233 2	57 9	説法八種ノ	説行八種ノ	233 11
57 1	白デワ無イ	白繪デハ無イ	233 2	57 9	在ツテコソ	在テコソ	233 10
57 1	月ニ練リ	月ニ練リ	233 2	57 8	況ヤ綾ヤ紋綵ガ	況ンヤ綾ヤ紋綵ガ	233 10
56 14	便ラヌ	便ラヌ	233 1	57 8	終ニ縫目タチ目ハ	ツイニ縫目裁チ目ハ	233 10
56 14	一條ノ去ト	一條ノ去ト	233 1	57 8	此白練ヲバ	止ノ白練ヲバ	233 9
56 14	石霜七去本則ダ	石霜七去ノ本則ダ	233 1	57 7	性狗子仏性タ	性狗子無佛性タ	233 9
56 13	無ト云イ	無ト云モ	232 16	57 7	諸色ノ根本白色ノ 侃デ	諸色ノ根本ダ根本白 色ノ侃デ	233 8
56 13	其侃常子デ	其侃常子デ	232 16	57 7	諸色ノ根本白色ノ 侃デ	諸色ノ根本ダ根本白 色ノ侃デ	233 8

58	12	照破セウズワ	照破セウズハ	234	13	59	12	晩色ニワ	晩色ニハ	236	4
58	11	千江——流水ワ	千江——流水ハ	234	12	59	11	兩ケ——徒頭——	兩箇——徒頭——	236	4
58	11	高処ト云ワ	高処ト云ハ	234	11	59	11	妨ケヌ	妨ケヌ	236	3
58	10	末エワ海門ノ	末エハ海門	234	11	59	9	物々ノ上ニ	物々ノ上エニ	235	13
58	10	眼コノ開合デワ	眼ノ開合デハ	234	11	59	8	サビハアルマイ	サビハナルマイ	235	12
58	10	関ト云一ガ在ル	關ト云一ガアル	234	11	59	7	藪ナガ	操ナガ	235	11
58	9	眼ハ是微妙ノ	眼コハ是微妙ノ	234	10	59	7	此茅舎デモ	此ノ茅舎デモ	235	11
58	9	開合カ在ル	開合ガアル	234	10	59	6	出興西来ノ	出世西来ノ	235	10
58	8	此ノ眼ヲ帯テ	此ノ眼コヲ帯ビテ	234	9	59	5	兎徑ヨ	兎徑ヨ	235	9
58	7	本無ノ禿関ダ	趙刻ノ本無禿関ダ	234	8	59	5	心ワ	心ハ	235	9
58	7	頂門ノ眼ガ	頂門ノ眼コガ	234	8	59	5	大道ト云タ	大道トミタ	235	9
58	7	在ルマイ呈ニ	アルマイ呈ニ	234	8	59	4	在ツテコソ呈ニ	アツテコソ呈ニ	235	8
58	7	此頂門ノ眼ニ	此ノ頂門ノ眼コニ	234	8	59	4	求メヤウズ	求メ羊ズ	235	8
58	6	此ノ修行ダ	此ノ條行ダ	234	7	59	4	向見レバ	向ウミレバ	235	8
58	6	ヒザヲホグサン	ヒザヲホグサヌ	234	7	59	3	甲斐イ	甲斐ナイ	235	7
58	6	此一位ニ	此ノ一位ニ	234	6	59	3	無法イト見ルワ	法無イト見ルハ	235	7
58	5	趙劬ナドワ	趙刻杯ハ	234	6	59	2	那ケ是レ不精彦	那箇是不精底	235	6
58	6	頂門ト云ワ	頂門ト云ハ	234	6	59	2	先ツ盤山ワ	先ツ盤山ハ	235	5
58	4	心得在リ走ナ	心口在リ走ナ	234	5	59	1	夜深——センタ	夜深——潺々	235	5
58	4	指出シテ	指シ出メ	234	5	59	1	作務ノ	作務ノ	235	4
58	4	心得ハ叢林	心ハ叢林デ	234	5	58	14	鎌子ワ	鎌子ハ	235	3
58	4	六祖語也	六祖ノ語也	234	4	58	14	トアル山頂デ	ト在ル山上デ	235	3
58	3	引頂門眼照破	引テ句云頂門ノ眼照破 <sub>ニ</sub> ス	234	4	58	13	一ツニ通ズル一 <sub>レ</sub> デ走ゾ	一ツニ通スル一 <sub>レ</sub> ダ	234	14
58	3	東派未向照破	東流未向照破	234	3	58	12	眼コデワミラレテコソ	眼コデハ見ラレテコソ	234	13

59	12	無イ物ヲ	無イ物ノヲ	236	5	60	10	引無中有路	引句云無中ニ有リ路	237	5
59	13	心ヲヨスル物ガ	心口ヲヨスル者ガ	236	5	60	11	五位ノ頌也	五位ノ総頌也	237	6
59	13	浦ノ蓬屋ノ	浦ラノ蓬屋ノ	236	6	60	11	是ハ	是レハ	237	6
59	13	夕暮レノ霄	秋ノ夕暮レ	236	6	60	12	暮口ニ研ル	暮口ニ研ル	237	7
59	14	心ワ	心ハ	236	6	60	13	菜山ノ家デ	菜山家デ	237	8
59	14	手相イワ大朶ノ發処	手相イハ大朶ノ發處	236	7	63	13	孤峯ト云ワ	孤峰ト云ハ	237	8
10	1	認メターダ	トメターダ	236	8	60	13	孤峯ニ透テタ	孤峰ニ秀テタ	237	9
60	1	江西派下デワ	江西派下デハ	236	8	60	14	透ルト云ガ	秀ルト云ガ	237	10
10	1	其ノ詠メモ無クテハ	此ノ詠メモナクテハ	236	8	61	!	ト云ワ	ト云ハ	237	11
60	2	夫レニ妨ケヌ	夫レモ妨ゲヌ	236	8	61	2	落チヌヲヨ	落ヌヲヨ	237	11
60	2	是処トワ	是処トハ	236	9	60	2	何ニ者ガ	何ニ物ガ	237	11
60	3	花モ無ク	花モナク	236	9	61	2	声ヲ作ズト	声ヲ作スト	237	11
60	3	紅葉モ在ツテコソ	紅葉モ在テコソ	236	10	61	2	暮口ニ——作ス	暮口——作ス	237	12
60	3	蛇尾シイト云ハ	サビシイト云ハ	236	10	61	3	誰カ敢テ	誰敢テ	237	12
60	3	爰ヲ絶景モレト云イ	爰ラヲ絶景トモ云イ	236	10	61	3	一頌ワ	一頌ハ	237	12
60	4	云タト云ワ	云タト云ハ	236	11	61	4	劫来々々	却来々々 <small>キヤ</small>	237	13
60	4	此蓬屋ノ内ニ	末エモ此ノ蓬屋ノ辺ニ	236	11	16	5	雲ヲ吞ンダト	雲ヲ吞タト	237	14
60	5	情ヲヨスル	情口ヲヨスル	236	12	61	5	間ニ立ヌヲダトキ	間ダニ立タヌヲダトキ	237	14
60	5	路筋ガ付カヌ	路スジハツカヌ	236	12	61	6	大道中のノ路ダ	大道中のノ路チダ	237	15
60	6	滿地——緑ナマデダ	滿地——緑リナマデダ	236	13	61	7	當則エノ	當則ノ	237	16
60	6	苔ケワ	苔ケハ	236	13	61	7	落居デ走	落居デア郎カダ	237	16
60	7	心得タガヨイゾ	心得タガヨイ	236	14	61	10	心得ハ當ヲ濟下一句	心ハ當則ハ濟下一句	238	6
60	8	菜嶠ノ孤峰ニ	菜橋ノ孤峰ニ	237	3	61	10	眼ト心得ルヲダ	眼コト心得ヲダ	238	7
60	9	攀取シ難イゾ	攀取シ難イゾ	237	4	61	11	傾ヌ帝座ト	傾カヌ帝坐ト	238	8

61 11 四ニ闐周公旦  
 61 12 當著下ガ  
 61 12 馬箠ミ  
 61 13 初関ニ傾ヌ  
 61 14 其佩ノ  
 62 1 四海八畝トモニ  
 62 1 心デ柱タ  
 62 2 甲斐ケレバ  
 62 2 起ウズ  
 62 2 未ハ一片ノ  
 62 3 帝徳ト見ヨ  
 62 3 一箭——轍ヲト

四モニ闐周公旦  
 當著下ガ  
 馬ゴミ  
 初関ニ傾カヌ  
 夫ノ佩ノ  
 四海八畝トモニ  
 心デ柱エタ  
 甲斐ナクンバ  
 起ウズ  
 末エハ一片ノ  
 帝徳ト看ヨ  
 一箭——万車——轍  
 スト  
 違勅ノ者ハ  
 吾ト倒退  
 背イタ物が在テコソ  
 違勅ノ者トハ  
 向ウミテ  
 云モスマウカ  
 山谷ニ在之  
 明堂位ノ疏  
 明堂ハ八窓ニノ  
 四闐  
 明ナル良チ

238 8  
 238 9  
 238 9  
 238 10  
 238 10  
 238 12  
 238 12  
 238 12  
 238 12  
 238 12  
 238 12  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 13  
 238 14  
 238 14  
 238 14  
 238 14  
 238 15  
 238 15  
 238 15  
 238 15  
 238 15  
 238 16  
 238 16  
 239 1  
 239 1

心ノ虚明ナル也  
 昌村和尚ノ御参ニ見  
 云作者ワ  
 諳ンジテ  
 一入吟音  
 天下ノ強將モ  
 引 后来話柄  
 貞和集ニ在之  
 心得ハ  
 兩僧トモニ  
 話ト云ワ  
 已前ノ  
 柄ハトリエ  
 話柄拳陽ダト云ツテ  
 ヨノ常ノ  
 一デワアラウズ  
 寒松ノ風吟  
 是非ノ出デズ  
 虫ノ音タト云ワ  
 鳥旧一世ノ  
 此正當ガ  
 松風ワ  
 物スゴイ  
 痛ミデワ

心ノ虚明ル如レ此ノ  
 昌村参ニ見タリ  
 同云作者ハ  
 諳ンジテ  
 一入吟音  
 天下ノ強將モ  
 引云后来ノ話柄  
 貞和集在之  
 心ハ  
 兩僧ノ  
 話ト云ハ  
 以前ノ  
 柄ハトリエテ  
 話柄拳揚ダト云テ  
 尋常ノ  
 一デハア郎ズ  
 寒松ノ吟音  
 是非ノ出ズ  
 虫ノ音ダト云ハ  
 鳥旧一世  
 此ノ正當ガ  
 松風ハ  
 物スゴイト  
 痛ミデハ

239 2  
 239 2  
 239 7  
 239 7  
 239 7  
 239 9  
 239 9  
 239 10  
 239 10  
 239 10  
 239 11  
 239 11  
 239 11  
 239 12  
 239 12  
 239 12  
 239 12  
 239 13  
 239 13  
 239 13  
 239 13  
 239 14  
 239 14  
 239 15  
 239 15  
 239 16  
 239 16  
 240 1  
 240 2

63	6	此羊ナ	此ノ用ナ	240	3	64	6	西来達广宗	西ノ来ノ達ノ磨ノ宗	241	6
63	6	至ツテハ	至テハ	240	3	64	7	此上堂ヲバ	此ノ上堂ヲバ	241	6
63	6	無不堅降籬デ	無レ可レ堅ニ降旗ヲデ	240	3	64	7	一烈ト見タガヨイ	一烈直空劫ト見タカヨイ	241	6
63	7	籬タヲ上ゲ	旗 <small>ハタ</small> タヲ上ゲ	240	4	64	7	即タト云ワ	即ダト云ハ	241	7
63	7	戈ヲ倒シタ <sub>1</sub> ダ	戈 <small>ハ</small> コヲ倒シタ <sub>1</sub> ダ	240	4	64	8	自己デワ	自己デハ	241	8
63	8	タマル者ワ	タマル者ハ	240	4	64	9	明ト云テ	明ムト云テ	241	8
63	8	アルマイナ	アルマイ	240	5	64	9	到ツタ <sub>1</sub> デハ無イ	到リ	241	9
63	9	直ト置イタ	直ト置タ	240	10	64	9	悟ツタ <sub>1</sub> デハ無イ	悟タ <sub>1</sub> デハ無イ	241	9
63	9	露字上ナ郎ニワ	露字上ア郎ニハ	240	10	64	11	廻リ路ト云テ	廻リ路ダト云テ	241	10
63	9	溟滄ノ夜船	滄溟ノ夜船	240	10	64	11	越エタ人ヲバ	超タ人ヲバ	241	11
63	11	心得ハ此上堂ヲバ	心ハ此ノ上堂ヲバ	240	12	64	12	有無ノ沙汰ハ	有無生死ノサタハ	241	11
63	12	驀ト云ワ	驀ト云ハ	240	13	64	12	生ナガラ	生乍ラノ	241	12
63	14	滄浪ニ	滄浪ニ	240	16	64	13	漁人ノ家ハ	漁夫ノ家ハ	241	12
64	1	是ワ始ヨリ	是レハ始メヨリ	241	1	64	13	紹 <small>シヨウ</small> ダトキ	紹ダトキガ	241	12
64	2	タヨラヌ	タヨラズ	241	1	64	14	ハゲ目ハ無イ処ガ	ハケ目ハ付テコソ処ガ	241	14
64	3	滄溟ノ船	滄溟ノ夜船	241	2	65	1	此白棒ヲ	此ノ白棒ヲ	241	15
64	3	清傳家ニ	清白傳家ニ	241	2	65	2	樵夫ノ家デワ	樵夫ノ家デハ	241	16
64	4	滄溟ノ浪ガ越リ	滄浪ノ波ミガ起チ	241	3	65	2	斧ノ柄ト作シテ	斧ノ柄トナシテ	241	16
64	4	クモ郎ズゾ	曇郎ズゾ	241	3	65	2	代々不改	代ヲ不レ限	241	16
64	5	直ト翻ツタ	直ト翻タ	241	4	65	3	清白傳家ノ	清白傳家一條ノ	242	1
64	5	滄溟ノ夜船デワ	滄浪ノ夜船デハ	241	4	65	3	摺ヲス	摺ヲバ	242	1
64	5	嶺南樵夫ノ家屋デワ	嶺南ノ樵屋デハ	241	5	65	4	樵夫ノ肌エ	樵夫ノ肌エガ	242	1
64	6	斧柯ト用イタヅ	斧柯ト用タヅ	241	5	65	4	髓ト見レバ	髓トミレバ	242	2
64	6	引一條白棒	引テ一條ノ白棒	241	5	65	4	西来意ノ達广宗ハ	西來ノ達广宗ハ	242	2



65	5	陶ツタ肌エヲ	陶タ肌エヲ	242	3	66	2	縦イ山ノ奥ニ	縦イ山ノ奥ニ	243	2
65	6	天童ノ家デワ	天童ノ家デハ	242	4	66	2	引キ籠ンデモ	引籠ンデモ	243	2
65	6	不点正當一句ノ	不点正當ノ一句ノ	242	4	66	2	心頭ノ火ト云ウ	心頭ノ火トハ	243	3
65	7	長美ノ卓ワ	長美卓ハ	242	9	66	2	心地ノ焰ヲ	心地ノ焰ウヲ	243	3
65	7	此僧ニ	此ノ僧ニ	242	9	66	4	夫コガ樹下山林デ	ソコガ樹下山林デ	243	4
65	7	淺カラザラウニワ	淺カラザ郎ニハ	242	10	66	4	ア郎道デヨ	ア労道デヨ	243	4
65	8	仰ウズ者ヲ	仰ウス者ノヲ	242	10	66	4	爰デ	爰デハ	243	4
65	8	円陀々地ニワ	圓陀々地ニハ	242	11	66	4	此火氣ヲバ	此ノ火氣ヲバ	243	5
65	9	引工夫磨琢老成人	句云工夫磨琢老成人ト	242	11	66	5	身心脱落	身心ヲ脱落シ	243	6
65	9	天童录ニ在之	天童录在之	242	21	66	6	寒徧正ヲ拂ハズ	寒暑徧正ヲ拂ワズ	243	7
65	10	記スルニ及ヌ	記セヌ	242	21	66	7	処ヲ見タテダ	処ト見タテダ	243	7
65	10	先入派ワ	マツ入派ハ	242	13	66	7	向上ニ入テワ	向上ニ入デハ	243	8
65	11	脱落中デワ	脱落中カデハ	242	13	66	8	徧正ノ間タワ	徧正ノ間ダハ	243	8
65	11	此三段ニワ	此ノ三段ニハ	242	14	66	8	ト云ツテ	ト云テ	243	9
65	12	脱落ノ時キワ	脱落ノ時ハ	242	14	66	9	徧正ヲ拂ツテワ	徧正ヲ拂テハ	243	9
65	12	碧岩ニ安禅	碧岩ニ安禅ハ	242	14	66	9	寒暑裡ニ在ツテ	寒暑裡ニ在テ	243	9
65	12	自涼ト黄竜ノ死心	自涼シト黄龍ノ死心	242	15	66	9	夫コヲ樂ヌトキガ	ソコヲ樂ヌトキガ	243	10
65	13	浮世デワ	浮世デハ	242	16	66	12	洞上ノ一僧ワ	洞上ノ一僧ハ	243	12
65	14	火亦涼シト	火モ自涼シト	242	16	66	13	流落ワ	流落ハ	243	13
65	14	夫レハ誤リダ	ソレハ誤リダ	242	16	66	13	老倒ノ只チデ	郎倒ノ只チデ	243	13
66	1	ヨンデ好イ	ヨンデヨイ	243	1	66	13	落ちブルムダ	落ちブルムゾ	243	13
66	1	二字トモニ	二字トモ	243	1	66	13	此地ニ三二十年	此ノ地ニ三廿年	243	13
66	1	物ノ禅ナ道理ハ	物ノ禅ナ道理ハ	243	1	66	14	修行シ尽シテ	修行ヲシ尽メ	243	14
16	2	安禅デワ	安禅デハ	243	2	66	14	幾度ガ	幾度カ	243	14

66	14	飯家穩座セント	飯家穩坐セント	243	14	67	12	見羊ズ	ミ羊ズ	244	10
67	1	如何ンガ廻避セン	如何廻避セン	243	15	67	12	円満ニノ	円満ニノ	244	10
67	1	依語生解タワ	依テ語ニ生レ解ラタハ	243	15	67	12	在ツテコソ	在テコソ	244	11
67	2	洞山門裏ハ	洞山門裡ハ	243	16	67	12	此円陀々地ニ	此ノ圓陀々地ニ	244	11
67	2	誰レデモアレ	誰レデモ	244	1	67	12	到ツテハ	到テハ	244	11
67	3	無イト云ツテ	無イト云テ	244	1	67	12	↘ 13 飯ルヲ不得デ	飯ルヲ未レ得デ	244	11
67	3	住荒シタトデハ	住ミ荒シタトデハ	244	1	67	13	終イニ安着ノ旨	終ニ安著ノ旨	244	12
67	3	依旧ト云ワ	依レ旧トハ	244	1	67	13	ト云ツテヨクガ	ト云テ置クガ	244	12
67	3	サビ飯タ門裏ダ	ザビ飯タ門裡ダ	244	2	68	1	祝儀ニ見合タゾ	祝儀ニ見合せタ	244	14
67	4	向上貧処	向上ノ貧処	244	2	68	2	廻避セント云ワ	廻避セント云	244	15
67	4	工夫トワ	工夫トハ	244	3	68	2	此僧ニ向テ	此ノ僧ニ向テ	244	15
67	4	洞上デワ	洞上デハ	244	3	68	3	我レニ還ス	我レニ還エス	244	16
67	5	夫ノ修行工夫ノ間ダ	其ノ工夫ノ間	244	4	68	4	戸ボソニハイツ	戸ホソニツイツ	245	1
67	5	廿年モ卅年モ	廿年モ三十年モ	244	4	68	4	引還我	句云還レ我ニ	245	1
67	6	徧正ノ間ダヲ	徧正ノ間ヲ	244	5	68	4	天童录ニ	天童录ニ在之	245	2
67	7	此僧モ如是	此ノ僧モ如此	244	6	68	5	心得ハ御家デ	心ハ御家エデ	245	2
67	7	功ヲ尽	功ヲ尽シ	244	6	68	5	沃ト云ウズ	沃トハ云ヲウズ	245	3
67	8	滅却シタ劳ニワ	滅却シタ劳ニハ	244	6	68	6	還スト云ツテ	還スト云テ	245	4
67	9	老成ノ人トワ	老成ノ人トハ	244	7	68	6	我ニ飯シタトワ	我レニ飯シタトハ	245	4
67	9	老琢ノ人ヲ	老極ノ人ヲ	244	7	68	7	我ニ飯トスト云ワ	我レニ還スト云ハ	245	4
67	9	云タト云ツテ	云タト云テ	244	8	68	7	飯サデワト云ワ	飯サデハト云ハ	245	5
67	9	年ノ倚ツタトデワ	年ノ倚タトデハ	244	8	68	7	我ノ間ダヲ	我ノ間ヲ	245	5
67	11	云イ走ウゾ	云イ走ゾ	244	10	68	7	离レタキガ	离レタトキガ	245	5
67	11	門前——芋々ト云ワ	門前——芋ト云	244	10	68	8	沙依無イトダ	沙汰ナイトダ	245	6

68	8	寒暑ノ間タワ	寒暑ノ間ハ	245	6	69	11	見合せて走	見合せてゾ	246	6
68	10	此地エ縦イ	此ノ地エハタトエ	245	7	69	12	拙ナイ牛欄裡ニ	拙ナイ牛欄裡ニ	246	11
68	10	飽参底ノ人	飽参底ノ人	245	7	69	13	暮ニ趣向シタワ	暮ニ趣向シタハ	246	12
68	12	門前——芋々ト云ウガ	門前——芋々ト云ガ	245	9	69	13	老君ノ作処カ	老君ノ做處カ	246	12
68	12	行李デア郎ズガ	行李デア郎カ	245	9	69	13	如何サマニ	如何様マ	246	12
68	12	此句ハ	此ノ句ハ	245	9	69	13	理ノ一佛デ	理ノ一佛ナ呈ニ不出	246	13
68	13	衣成タラ	ナサレタラ	245	10	69	14	拙ナイ牛欄裡	拙ナイ牛欄裡	246	14
68	13	見合スルナリ	見合せベシ	245	10	69	14	拙ナイ牛欄裡	拙ナイ牛欄裡	246	14
68	48	須弥ノ法座ヲ	須弥ノ法坐ヲ	245	11	70	1	体脱泯処ノ	脱体泯処ノ	246	15
68	14	眼睛瞎却ト云ヲ	眼睛瞎却ト云額ヲ	245	12	70	2	牛欄裡ニ取テ	牛欄裡ニ取イテ	246	16
69	1	長彙卓員末ノ唱和	長彙員末ノ唱和ハ	245	12	70	3	「ダ時キ	「ダ時キ	246	16
69	1	左右デワ無イカ	左右デハ無イカ	245	13	70	3	泯ツレダ処ガ	泯ンジタ処ガ	247	1
69	2	引恁広為人	恁麼ニ爲せハ人ノ	245	13	70	4	一位デワ無イカ	一位デハナイカ	247	1
69	2	心得ハ是ワ	心ハ是レハ	245	13	70	4	末エハ如是	末ハ如是	247	1
69	2	ミ立テタ	見立テタ	245	14	70	4	トモニヲツ泯シテ	共ニヲツ泯シテ	247	2
69	3	作家ノ炉鞴ガ	作家ノ炉鞴ガ	245	14	70	4	公子ノ業ガ	公子ノ業	247	2
69	4	洞上デハ	洞上ハ	245	15	70	5	ア郎ズ在レドモ	ア郎ズアレドモ	247	2
69	5	寒暑徧敵味方	寒暑徧正敵味方	245	16	70	5	如何サマト云ツテ	如何様ト云テ	247	3
69	7	打ツタ「ダ	打タ「ダ	246	1	70	5	的位ヲ	的位ヲサヌガ	247	3
69	7	光ル間ノ	覚ル間ノ	246	2	70	6	碧岩ダト云ウガ	碧岩ヲバ	247	4
69	9	販方丈ト云ツテ	販方丈ト云テ	246	4	70	7	サテ亦當則ハ表ガ	「テ亦當則ハ表デガ	247	4
69	9	家門デワ	作者ノ家門デハ	246	4	70	7	裏ガ誰ソニ	裏ハ誰ソニ	247	5
69	10	作家ノ炉ハイデ	作家ノ炉鞴デ	246	5	70	8	當行下デ	當下デ	247	5
69	11	通処在ツテ	通処在テ	246	6	70	8	畢竟ワ	畢竟ハ	247	6

70 9 一粒ノ米ヲタクワエズ  
 70 9 一莖サイヲ種ヌ処ヲ  
 70 10 一位ト見合タゾ  
 70 10 正宗賛ニ云  
 70 11 不蓋一粒米  
 70 11 酒糶公子顔  
 70 12 花積美人ノ頭  
 70 13 是ワ  
 70 13 洞山ヲ賛ノ  
 70 13 酒糶——顔ト云ワ  
 70 14 花ヲ搦——頭ト云ハ  
 71 1 緑髪ニ  
 71 1 挾ダ郎ニワ  
 71 2 猶ヲモ美シカ郎ズ  
 71 1 ト云ワ  
 17 2 三頓ノ棒下  
 71 2 一粒ノ米不蓋  
 71 2 一莖菜ヲ不種  
 71 3 酒粧——顔花  
 71 3 ——頭ト  
 71 3 公子美人ニ  
 71 3 此肌ヨリ  
 71 3 4 把廣頭——卓ト

一粒ノ米  
 一莖ヲ種ヌ處ヲ  
 一位ト見合タ  
 正宗賛ニ云  
 不蓋<sup>タケハ</sup>一粒ノ米ヲ  
 酒ケハ<sup>ヨソヲ</sup>糶<sup>カシ</sup>公子ノ顔  
 花ヲ<sup>サシハ</sup>搦<sup>サシ</sup>美人ノ頭ベ  
 是レハ  
 洞山ノ初ヲ賛ノ  
 酒粧——顔ト云ハ  
 花<sup>サシハ</sup>搦——頭ト云ハ  
 緑髪ニ  
 挾<sup>サシ</sup>ダ郎ニハ  
 ナヲモ美ア郎ズ  
 ト云ハ  
 三頓ノ棒下デ  
 一粒ノ米ヲ不蓋<sup>タケハ</sup>  
 一莖菜ヲ不種  
 酒粧——顔花  
 ——頭トハ  
 公子美人ノ肌エニ  
 此ノ肌エヨリ  
 把<sup>サシ</sup>廣頭——卓ト

247 6  
247 6  
247 7  
247 7  
247 8  
247 9  
247 9  
247 10  
247 10  
247 10  
247 10  
247 11  
247 11  
247 12  
247 12  
247 12  
247 13  
247 13  
247 14  
247 14  
247 14  
247 15

71 4 糞雜堆中ニ  
 71 4 佛祖ヲ取ツテ  
 71 4 倒ニ卓テ  
 71 5 趣籠<sup>サカシ</sup>タ<sup>マ</sup>ダト云ワ  
 71 6 見タ<sup>レ</sup>タゾ  
 71 7 桂節ヲ  
 71 7 一枝ノ菊  
 71 8 保寧勇ワ  
 71 8 是此ノ一枝ヲ  
 71 8 只應有尊堂  
 71 9 引 東籬寂寞  
 71 9 一枝菊不入玉孫  
 71 9 世尊拈花頌也  
 71 10 心得ハ  
 71 10 諸聖已矣ノ間タワ  
 71 10 祭リ<sup>ヲ</sup>作シ  
 71 10 翫<sup>ブ</sup>他<sup>ダ</sup>  
 71 11 夫レハ一向  
 71 12 足本ノ<sup>ヲ</sup>ヨ呈ニ  
 71 12 其ノ祭<sup>リ</sup>ノ地エ  
 71 12 矣山デワ  
 71 12 青原下ニワ  
 71 12 一枝デワ無イカ  
 71 14 是ヲ

糞雜<sup>フンザウ</sup>中ニ  
 佛祖ヲ取テ  
 倒ニ卓<sup>サカシ</sup>テ  
 趣<sup>サカシ</sup>籠<sup>マ</sup>ン<sup>タクシ</sup>ダ<sup>クシ</sup>ト云ハ  
 見タ<sup>レ</sup>ヨ  
 桂節ヲ  
 一枝兼<sup>キタ</sup>  
 保寧勇ハ  
 是レ此ノ一枝ヲ  
 只應金——堂  
 引テ句云東籬<sup>セキ</sup>寂<sup>バク</sup>寞<sup>タリ</sup>  
 一枝ノ兼<sup>キタ</sup>不入玉孫  
 世尊拈花ノ頌也  
 心ハ  
 諸聖已矣ノ間<sup>ナ</sup>ダハ  
 祭リ<sup>ヲ</sup>作シ  
 翫<sup>ブ</sup>地<sup>ダ</sup>  
 其レハ一向  
 足本ノ<sup>ヲ</sup>ダ呈ニ  
 其ノ祭<sup>リ</sup>ノ地エ  
 矣山デハ  
 青原下ニハ  
 一枝デハ無イカ  
 是レヲ

247 15  
247 15  
247 15  
247 16  
247 16  
248 5  
248 5  
248 6  
248 6  
248 7  
248 7  
248 7  
248 8  
248 8  
248 8  
248 8  
248 8  
248 8  
248 9  
248 9  
248 10  
248 10  
248 11  
248 12

72 | 1 賞シ羊デア郎ズゾ  
 72 | 3 輝殿門ニコソ  
 72 | 3 匠手ノ巧妙ヲバ  
 72 | 4 焉知萬里連雲色  
 72 | 5 先句面ハ  
 72 | 5 堯ノ代ニワ  
 72 | 5 土塔三尺ト云ツテ  
 72 | 5 土チヲ三尺高ク  
 72 | 5 築上テ  
 72 | 7 万民ヲ隣レミ  
 72 | 8 雲井ニ穿ツテ  
 72 | 8 立テラレタニ  
 72 | 8 国土ノ人民ガ勞テ  
 72 | 9 堯塔三尺ニワ  
 72 | 9 及ブマイゾト  
 72 | 9 作ツタ句ダ  
 72 | 10 見立ワ  
 72 | 10 石頭造デワ  
 72 | 11 鋤斧ワ  
 72 | 11 踵ヲ紹クト  
 72 | 11 好峯蛮ト云ツテ  
 72 | 12 新地ナドヲ

賞シ用デア郎ズ  
 輝ノ殿門ニコソ  
 匠手ノ巧妙ヲバ  
 焉知ラム萬里連雲ノ色  
 先ツ句ノ心ハ  
 堯ノ代ニ  
 土塔三尺ト云テ  
 上手三尺高ク  
 築上テ  
 万民ヲ隣レミ  
 雲井ニ穿テ  
 起テラレタニ  
 国土ノ人民ガ勞テ  
 尽ク天下ガ乱レ后チ  
 堯塔三尺ニハ  
 及ヌト  
 作タ句ダ  
 見立テハ  
 石頭造デハ  
 鋤斧ハ  
 踵スヲ紹グト  
 好峯蛮ト云テ  
 新地抔ヲ

248 | 14  
 249 | 5  
 249 | 5  
 249 | 5  
 249 | 6  
 249 | 6  
 249 | 7  
 249 | 7  
 249 | 7  
 249 | 8  
 249 | 9  
 249 | 9  
 249 | 10  
 249 | 11  
 249 | 11  
 249 | 11  
 249 | 11  
 249 | 11  
 249 | 11  
 249 | 12  
 249 | 12  
 249 | 13  
 249 | 13

72 | 12 樵夫ノ破笠  
 72 | 13 南嶽ノ好峯蛮ヨ呈ニ  
 73 | 4 其ノ羊ナユムシイ  
 73 | 4 棟門ワ  
 73 | 4 終イニワ  
 73 | 5 榮衰ノ沙汰ワ  
 73 | 6 嶺南樵夫ノ破屋ヲ  
 73 | 6 二法一般デ走  
 72 | 14 簷ヲ双タト云ワ  
 72 | 14 此古殿ワ  
 72 | 14 三皇ノ古シエデ  
 73 | 1 立テ見バ慕ウズ  
 73 | 1 諸聖モ無ク  
 73 | 1 重ヌ可キ  
 73 | 2 住山ノ眼コダ  
 73 | 3 已矣ヲ連雲日ニ輝ク  
 73 | 7 吾レナ郎ニワ  
 73 | 7 一手ナレトモ

樵夫ノ破屋  
 南嶽ノ好峯蛮ヨ呈ニ  
 此ノ物スゴイ破屋ヲ  
 其佗堯塔三尺ノ高キ  
 ト見羨ヌナセ  
 簷ヲ双ベタト云ハ  
 此ノ古殿ハ  
 三皇ノ古エデ  
 立テミレバ慕ヲウズ  
 諸聖モナク  
 重ズベキ  
 住山ノ眼ダ  
 已矣ノ軒葉ヲ連雲  
 日輝ク  
 其ノ羨ニユムシイ  
 棟門ハ  
 終イニハ  
 榮衰ハ  
 嶺南ノ樵屋ヲ  
 佛法王法一般ノ旨ダ  
 同則 海即信  
 一位ト沙汰シタゾ  
 一手ナレドモ  
 吾レナ郎ニハ

249 | 14  
 249 | 14  
 249 | 15  
 249 | 16  
 249 | 16  
 250 | 1  
 250 | 1  
 250 | 1  
 250 | 2  
 250 | 2  
 250 | 3  
 250 | 3  
 250 | 4  
 250 | 4  
 250 | 4  
 250 | 5  
 250 | 6  
 250 | 6  
 250 | 7  
 251 | 16  
 252 | 5  
 252 | 5

73	8	閩王内裏エ	閩王内裏ニ	252	6	74	2	上エワ酸タ沘ダ	上ハ齧タ沘ダ	252	14
73	8	天門ヲ過バ	天門ヲ過ギバ	252	7	74	3	牛馬ノ腹タコソ	牛馬ノ腸タコソ	252	15
73	8	向ウコソ	向コソ	252	7	74	3	ナセーバアノ肌エニ	アノ肌エニ	252	15
73	8	引玄沙三白紙本則也	引テ玄沙三白紙ヲヨス	252	7	74	3	ムジミメワ	ニジミメハ	252	15
73	9	心ワ	心ハ	252	7	74	3	謝三郎ノ肌	謝三郎ノ肌エ	252	15
73	9	銀咬床ヲ送テ	銀交床ヲ送テ	252	7	74	4	牛馬ノ腹タ	牛馬ノ腸タ	252	16
73	9	其因ニ在リ逢ウタ	其ノ因ニ在合タ	252	8	74	4	白紙一枚ト見タ	白紙一枚トミタ	252	16
73	10	問タト見エタ処ヲ	問テ見ヘタ処ヲ	252	8	74	4	終ニ一点打ツタヌ	終イニ一点打タヌ	252	16
73	10	地挖輕打我く	挖レ地輕打我く	252	9	74	4	沙汰ガ在ツテコソ	沙汰ガ在テコソ	252	16
73	11	挖地ヲ	挖レ地ヲハ	252	9	74	5	好イ報ジ羊	好イ報答シ用	253	1
73	11	四蹄備ル	四蹄備ル <small>ソナバ</small>	252	9	74	5	過ギ羊デハ	過ギ用デハ	253	1
73	11	只チト見ル	只チトアル	252	9	74	5	君子ノ道	君子ノ道チ	253	1
73	11	善知識ナレトモ	善智識ナレドモ	252	9	74	6	大吏デ走ウゾ	大事デ走ゾ	253	2
73	12	修行ノカワ無イ呈ニ	修行ノカハナイ呈ニ	252	10	74	7	觸犯セヌワ	觸犯せヌハ	253	7
73	13	引カウズ辻ヨ	引カウズ辻デヨ	252	11	74	8	見ソエタカ	ミソエタカ	253	8
73	13	其ノ時キワ	其時キハ	252	11	74	8	此ノ眉底	此ノ眉底ニ	253	8
73	13	打我ダト云ツテモ	打レ我ヲタト云モ	252	11	74	8	眼ヲ着ルトシテ	眼ヲ着ルトメ	253	9
73	13	道ヲ作ス処デ	道ヲ成ズル處デ	252	11	74	8	接待ノ快便ヲバ	接待ノ快便ヲバ	253	9
73	14	此ノ肌ニ	此ノ肌エニ	252	12	74	9	趙州一人コソ	趙老一人コソ	253	9
73	14	供養信施ワアツテコソ	供養信施ハ在テコソ	252	13	74	9	引腦后見臆兮	引テ句云腦后ニ見テ臆兮	253	9
74	1	向ウ見タトキ	向ミタトキ	252	13	74	9	眉底ニ看眼兮	眉底着眼兮	253	9
74	1	報答デワ無イカアレトモ	報答デハ無イカアレドモ	252	13	74	10	問答ノ比判也	問答ノ判也	253	10
74	1	作者ワ吾レナ郎ニワ	作者ハ吾レナ郎ニハ	252	13	74	10	心得ハ	心ハ	253	10
74	2	送郎ズ者ヲト云ワ	送勞ズ物ヲト云ハ	252	14	74	10	異相ノ内チダ	異相ノ内ダ	253	11

74	11	腮イノ荒タ人ハ	腮ノ荒レタ人ハ	253	11	75	5	棒シタ徳山モ	棒ノ徳山モ	254	3
74	11	脳後ノ腮イノ	脳後ノ腮ノ	253	11	75	5	喝シタ臨濟モ	喝ノ林濟モ	254	3
74	11	荒レタツタト云ワ	荒レ立タト云ハ	253	12	75	6	用イ得テ	サテ用イ得テ	254	3
74	12	見エン異相見地ノ	見エ又異相見地ノ	253	12	75	6	過タ風度デワ	過キタ風度デハ	254	3
74	12	驚直ト云イ勘破ノ	驚直ト云婆子ノ	253	12	75	7	胸 <small>クラツ</small> タ	陶ツタ	254	4
74	12	脳后ヲ見ルニ	脳后ヲミルニ	253	12	75	7	肌ガ	肌エガ	254	4
74	12	腮イモ一入荒レ立ツテ	腮モ一入アレ立テ	253	12	75	7	ア郎ズゾ	ア郎ズ	254	5
74	13	異相ナ底タト云ワ	異相ナ底タト云ハ	253	13	75	9	アセハテタワ	アセハテタハ	259	6
74	14	腮ノ荒タ底イダ	腮ノ荒レタ底ダ	253	13	75	9	鼻孔デワ無イカ	鼻孔デハ無イカ	259	7
74	14	量リ難イ一タ呈	量リ難イ一タ呈ニ	253	14	75	9	鼻孔デワ無イカ	鼻孔デハ無イカ	259	7
75	1	道里ダ	道利ダ	253	15	75	9	古エノ返魂香ワ	古エノ返魂香ハ	259	7
75	1	爰ヲ	爰ヲ	253	15	75	10	早梅ノ木ノ間ニ	早梅ノ木間ニ	259	7
75	1	此羊ナ人ノ	此ノ用ナ人ノ	253	15	75	10	句臨春結綺荒荆棘	句云臨春結綺荒レテ荆棘	259	7
75	2	眼ヲ着ルガ	眼コヲ着ルガ	253	16	75	10	誰信函香是返魂	誰レカ信セン <small>キヨウ</small> 函 <small>ナ</small> 香是レ返魂 <small>ナル</small>	259	8
75	2	眼横鼻直	眼横鼻直ノ <small>フ</small> ダ	253	16	75	10	誰信函香是返魂	誰レカ信セン <small>キヨウ</small> 函 <small>ナ</small> 香是レ返魂 <small>ナル</small>	259	8
75	3	驚直ト云タ	驚直ト見タ	253	16	75	10	誰信函香是返魂	誰レカ信セン <small>キヨウ</small> 函 <small>ナ</small> 香是レ返魂 <small>ナル</small>	259	8
75	3	波子ノ脳后ヲ	波子ノ肚裡ヲ	253	16	75	11	早梅ノ部ニ在之	早梅ノ部ニ在之	259	8
75	3	見届ケタ郎ニワ	見届ケタ郎ニハ	254	1	75	11	三閣陳後ノ主	三閣陳ノ後ノ主	259	9
75	3	接待ノ	接待ノ	254	1	75	14	造ツタ	造タ	259	11
75	4	得デワ	得デハ	254	1	75	14	只ダノ人ワ居走ウズ	只ノ人ハ居走ズ	259	11
75	4	是ガ	是レガ	254	1	75	14	只ダノ人ワ居走ウズ	只ノ人ハ居走ズ	259	11
75	4	咄 <small>ツマ</small> イ羊 <small>ヲ</small> ダ	咄 <small>ツマ</small> イ用 <small>ヲ</small> ダ	254	2	76	1	拵開ノ拳シノ	拵開拳シノ	259	11
75	4	婆子茶味デ	婆子ノ茶味デ	254	2	76	2	尽ノ住ミ荒シテ	尽ク住ミ荒シテ	259	12
75	5	此茶椀裡ニ至ツテハ	此ノ茶椀裡ニ至テハ	254	2	76	2	在リ処口ト	在リ処ト	259	13

76 11	76 11	76 10	76 10	76 10	76 9	76 9	76 9	76 8	76 8	76 8	76 7	76 7	76 7	76 6	76 5	76 5	76 4	76 3	76 3	76 3	76 2
スム人ヲ響シタゾ	沙休ヲスル処デ	閃電ノ沓ト云タ	陰陽ニ落チヌ	投子ノ家デワ	亦四番ノ	クツトヲツムレバ	万物——發ク	松猶青シト	凋落ノ后チワ	爪マハヅレワ	余薫在ル人ハ	此ノ羊ナ	余薫デワ	沉檀香木ノ包	乱ラヌーダ	参リ通ワヌガ	林才ノ	是ガ濟下ノ	真トニ瘦僧ノ一人モ	坂方丈裡ニワ	サテ臨濟ノ
スム人ヲ響シタ	サタヲスル処テ	閃電ノ沓トモ云イ	陰陽ニ落ヌ	投子ノ家デハ	亦廿四番ノ	クツトヲツムレバ	万物——發ク	松猶ヲ青シト	凋落ノ后チハ	爪マハヅレハ	余薫アル人ハ	此ノ用ナ	余薫デハ	沉檀香木ノ包 <small>ニライ</small> ハ	乱ラヌー	参リカヨワヌガ	林濟ノ	是レガ林濟ノ	真ニヤセ僧ノ一人モ	坂方丈裡ニハ	サテ林濟ノ
260 6	260 5	260 5	260 4	260 4	260 4	260 3	260 3	260 3	260 3	260 2	260 2	260 2	260 1	259 16	259 16	259 16	259 15	259 14	259 13	259 13	259 13

259  
13  
14

77 6	77 6	77 6	77 6	77 5	77 5	77 4	77 4	77 3	77 3	77 3	77 2	77 1	77 1	76 14	76 13	76 13	76 13	76 12	76 12	76 12	76 12
爰ニ心ヲ付ケテ	見エタ	庭前ノ牡丹ニ	我が牛ヲ	人ノサタワ	楚山ハ峨々ト	楚山——嶮	何レノ処ニカ	天曉——去	一刀戴鞋下ワ	三ノ句ハ	王老——行ト云ワ	狸狽ダ在ルガ	南泉知冗ノ道ガ	本則ハ	牛蹄跡ノ呈ワ	必ズ興醒走ヨ	手本傍辺デワ	牯牛ヲ撃イタ	古エ牡丹ニ	(ナシ)	同則 月庭中
心ヲ付テ	見セタ	庭前ノ牡丹ニ	吾ガ牛ヲ	人ノサタハ	楚山 峨々ト	楚山——嶮	何ノ処ニカ	天曉——去ル	一刀戴鞋下ハ	句ハ	王老——行ト云ハ	狸狽ダアルガ	南泉知見ノ道ガ	心ハ本則ハ	牛蹄跡ノ呈ハ	必ズ興ヲ醒走ズヨ	手本傍辺デハ	牯牛ヲ撃イダ	古エ牡丹ニ	同則 白雲端	引テ唯將 香
262 11	262 11	262 11	262 11	262 10	262 10	262 9	262 9	262 8	262 8	262 8	262 7	262 6	262 6	262 6	262 5	262 4	262 4	262 3	262 3	261 14	260 7



77	7	繫イダ刈訓モ	繫イタ刈訓モ	262	12	78	6	笑ウガ刀鋒下ノ活句ダ	笑タガ刀鋒下活句ダ	263	13
77	8	繫イダ手本ト	ツナイダ手本ト	262	13	78	7	渡ラズ	渡ラス	263	14
77	8	牡丹ニ牛ヲ	亦牡丹ニ牛ヲ	262	13	78	8	其佩	其佩ノ	263	15
77	8	繫イダワ	ツナイタハ	262	13	78	9	宝鑑ヨト云フ	宝鑑ヨト云ハ	263	16
77	9	色口深イナ	色深イナ	262	13	78	8	滿懷ニ卒度モ	滿懷イニソツトモ	263	16
77	9	興醒タト	興サメタト	262	14	78	9	私燭ハ在ツテコソ	私燭ガアツテコソ	263	16
77	10	首座如キノ傍人ヨ	首座如キノ位方人ヨ	262	14	78	9	サヒガウイテコソ	サヒガウイテコソ	263	16
77	10	付イテ見レバ	付テミレバ	262	14	78	9	秋色デハ無イカ	秋色デハナイカ	264	1
77	11	楚山――嶮ト云ワ	楚山――嶮ト云ヲ	262	15	78	10	私燭ダゾト云ワ	私燭ダゾト云ハ	264	1
77	12	脚跡ワ	脚跡ニ跡トハ	262	16	78	10	匡ヲ离ルムト云ワ	匡ヲ离ルムト云ハ	264	2
77	12	アルマイトキガ	アルマイトキカ	262	16	78	10	正當ヲノベタゾ	正當ヲ展ベタゾ	264	2
77	12	道人ノ去来タゾ	道人ノ去来ダ	263	1	78	11	巖イ禅床ヲ	巖イ禅床ヲ	264	7
77	14	然ラバ	然バ	263	7	78	11	一刀下清功ワ	一刀下ノ清功ハ	264	8
78	1	句云	引テ句云	263	8	78	11	芦水ノ流レニ有リ	芦水ノ流レ有	264	8
78	1	南浦作	南浦作也	263	8	78	12	松ノ風吟ヨリモト	松ノ風吟ヨリモ	264	8
78	2	貞秋集在之	貞和集ニ	263	10	78	12	吟ジステムヲカデワ	吟ジステムヲカデハ	264	9
78	3	常ヲ返シテ合道ト云	常ヲ返メ合フ道ニト云	263	10	78	12	句引 位上青山	句云位ハ上青山	264	9
78	3	立チ退ヌーダ	立チ退ヌーダ	263	10	78	13	心得ハ	心ハ	264	10
78	4	ノリ入ルタトノ	ノリ入ルトノ	263	11	78	13	頂キヨリモト云ツテ	頂キヨリモト云テ	264	10
78	4	一掉ヲ百雜碎シタ	一掉百雜碎シタ	263	11	78	14	遠イ一デワ無イ	遠イ一デハ無イ	264	10
78	4	爰デハ	爰デモ	263	11	78	14	道得不道得ト	道得バ道不レ得ト	264	10
78	4	道イ得バ道得ズンバ	道得ハ道イ得ズンハ	263	12	78	14	巖シク行ジタ	巖ク行シタ	264	11
78	5	兩老ノ御一ダ	兩老ノヲ一ダ	263	12	78	14	其ノ假青山無所ノ	其假青山無所ノ	264	11
78	5	斬却――鞋下ガ	斬却戴鞋下ガ	263	12	79	1	足シ向ケヲセズ	足向ケヲセズ	264	11

79 12	79 12	79 12	79 11	79 10	79 10	97 9	79 8	79 6	79 5	79 5	79 5	79 4	79 4	79 4	79 3	79 2	79 2	79 2	79 1		
孤峯頂上ノ草卷ヲ	背却シ去ツタ処ガ	心得ハ	避雲入乱峯	ツケカ子タモ	然バ其賊英雄ノ	名在ル峯恋ナヲ	盤結卓庵	由シヲヨセタ	理把ヲ付ヌーダ	吟ジステム於クト云ウ	云ウガ為タゾ	清イト云ワ	奇吟ナ	流レタ込デヨ	一刀鞋下ハ	一寸戴	皆ナ葉山蟻塚ヨ	取付クワ	玉殿苔上トモ云イ	爰ヲリ	
孤峰頂上ノ草巷ヲ	背却シ去タ処ガ	心ハ	深村荒草裡ハ酒市...	辞レ雲ヲ入ル乱峰	然ラバ姦賊英雄ノ	名アル峰恋ナヲ	盤結ノ草庵ヲ	ヨシヲヨセタ	理巴ヲ付ヌーダ	吟ジステム於クト云ハ	云ヲウカ為メダ	清イト云ハ	奇冷ナ	流レタマデヨ	一刀戴鞋下ハ	一寸ト戴イタ	皆葉山蟻リ塚ヨ	取付クハ	玉殿苔生トモ云イ	爰ヨリ	
265 12	265 12	265 12	265 10	265 9	265 9	265 8	265 7	265 1	264 16	264 16	264 16	264 15	264 15	264 15	264 14	264 13	264 13	264 12	264 12		
80 8	80 8	80 7	80 6	80 6	80 6	90 6	80 5	80 5	80 3	80 4	80 3	80 2	80 2	80 2	80 1	80 1	79 14	79 14	79 13	97 13	
心得ハ	昔シナガラノ	荒ニシヲ	更ラニ参セヨ	一ナ郎ニワ	作者ワ是此ノ山色ノ	後ノ山色ハ	栄衰ニ及トモ	或イハ新都或旧都ト	深村荒草裡ガ	畢竟ワ	皆野于ダ	爰デワ	出走ウズ	付ヌ処也トキガ	路筋ヲ付ケヌ	其賊英雄ガ	此深村荒草裡ニ	足本デワ	賣買ノ地ト	消息ダト云ワ	爰ガ客外ノ行李
心ハ	昔シ乍ラノ	荒レニシヲ	更ニ参セヨ	一ナ弟ニハ	作者ハ是レ此ノ出色ノ	彼ノ山色ハ	栄衰ニ及フトモ	或ハ新都或ハ旧都ト	深村荒草裡ヲ	畢竟ハ	皆ナ野于ダ	爰デハ	出ダ走ズ	付ヌ処ダゾトキカ	路筋ヲ付ケズ	姦賊英雄ガ	此ノ深村荒草裡ニ	足本デハ	賣買ノ地ト	消息ダト云ハ	爰ガ格外ノ行李
266 10	266 10	266 10	266 9	266 9	266 8	266 8	266 7	266 7	266 1	266 1	265 16	265 16	265 16	265 15	265 15	265 15	265 15	265 14	265 14	265 13	265 13

80	9	アシライダ在レトモ	アイシライダアレモ	266	11	81	5	如何様垂ル底ノ	イカサマ乗ル底ノ	267	9
80	10	移ス間ダノ	移ス間ノ	266	12	81	5	定ツタト云ハ	定タト云ハ	267	9
80	10	爰ニワ榮衰ガ在ル	爰ニハ榮衰ガアル	266	12	81	5	硯リトシタ	硯トシタ	267	10
80	10	其ノ間タヲバ	其間タヲバ	266	12	81	6	亦車ニ推ス拽クトノ	亦車ハ推スト拽クトノ	267	10
80	10	一時ニ拂ウト	一時ニ掃ウト	266	12	81	6	車行守護ト	車行ノ守護ト	267	11
80	11	扱テ為我過袈裟	扱為ニ我過ニ袈裟ヲ	266	13	81	7	明々百草頭ガ	明々タル百草頭ガ	267	11
80	11	来レト云タワ	来ト云ハ	266	13	81	7	祖印意ト見レバ	祖師意ト見レバ	267	12
80	11	向上ノ指シハナシ	向上ノ指シハナシデ	266	13	81	8	翠リナ上ニモ	翠リナ上エニモ	267	12
80	12	屋後景	屋後ノ景	266	14	81	8	臺——入ルト	亦楼臺——入ルト	267	13
80	12	正古ノ俣デ長季ニモ	正古ノ俣長年ニモ	266	14	81	8	山下ノ他水ニモ	山下ノ池水ニモ	267	13
80	13	ト云題イデ	ト云題デ	266	15	81	8	拽イタト云車ダ	拽イタ車タ	267	13
80	14	新旧ニ落ちヌ処ヲ	新旧ニ落ヌ処ヲ	266	15	81	9	其ノ俣一車輪ダ	其俣ノ一車輪ダ	267	14
80	14	古郷ノ花ナト見立テタ	古郷ノ花トミ立テタ	266	15	81	9	夫ノ上エデ	夫ノ上エニ	267	14
80	14	沙汰ワ在ルマイ	沙汰ハアルマイ	266	16	81	10	人ヲ見デワ	人ヲ見デハ	267	14
81	1	景ニ至ツテハ	景ニ到テハ	266	16	81	10	須弥虚空	須弥虚空ガ	267	14
81	1	三十季トヲサユルガ	卅年トヲサエルガ	266	16	81	10	住家カト見バ	住ミ家トミレバ	267	15
81	2	誰ガ御幸キニ	誰ガ御幸キニ	267	6	81	10	水晶簾タ呈ニ	水晶簾タ呈ニ	267	15
81	2	供奉スルトワ	供奉スルトハ	267	6	81	11	水唱簾——働ク処デ	水唱——働ク処デ	267	15
81	3	聞ユル羊ナゾ	聞ユル用ナ	267	8	81	11	微風ニ和シテ	微風ニ和メ	267	16
81	4	引推之	引テ句云推レ之ヲ	267	8	81	11	人ガ在ル	人ガアル	267	16
81	4	碧岩在之	碧岩序ニ在之	267	9	81	12	此ノ余薫ナラザル	此ノ主ノ余薫ナラザル	267	16
81	4	心ワ先ツ車ニハ	心ハ先ツ車ニハ	267	9	81	12	処ワ無イ	処ハナイ	267	16
81	4	只ダノ人ワ垂ラヌ	只ノ人ハ騎ラヌ	267	9	81	14	此ノ消息デ	此消息デ	268	1
				267	9			虚位ノ主ノ一ヨ	虚位ノ主ノ一ダ	268	3

81 14	トツコモ此主ノ	ドツコモ此ノ主ノ	268 3		82 12		「		「	天嶺サマノ法門ガ	269 2
81 14	虚空ヨリ	虚空空処ヨリ	268 3		82 12		(ナシ)			手本デ走ゾ	269 3
82 1	車タゾ	車マデ走ゾ	268 3 4		82 12					牛車輦車ノ	269 4
82 2	折ッ碎ツ	折レツ碎ケツ	268 9		82 82					垂リ下リヲモ	269 5
82 3	此ノ方	此ノ方タ	268 10		82 13					破却ノ不道人	269 5
82 3	山裡樵夫ノ	山里樵夫ノ	268 10		82 13					帝位ニヲツタナ在ル	269 6
82 3	峯子ツムキ	峰ツムキ	268 11		82 14					松源岳ハ	269 6
82 4	ツムラヲリナル	之識ナル	268 11		82 14					此ノ狼藉ヲ	269 6
28 5	六祖ノ道伝ニ	六祖道底ニ	268 12		82 14					沉メントシテ	269 7
82 5	此由ヲヨセタ	此ノ由シヲ奇セタ	268 12		82 14					押エテ	269 7
82 5	甲斐イッダ	カイナイッダ	268 13		83 1					唱エナレドモ	269 8
82 6	見タガ好イ昼ニ	見タガヨイ昼ニ	268 13		83 2					見ルトキンバ	269 8
82 6	見立テワ	見立テハ	268 13		83 3					睦州門閻デ	269 9
82 7	ツムラヲリダ在ルガ	之ヲヲリダ有ルガ	268 14		83 3					破却ニ逢ウタ	269 9 10
82 7	降ツタ	フツタ	268 14		83 4					垂リ下リヲモ知ラヌ	269 10
82 7	其ノ差路ヲバ	其ノ路頭ヲバ	268 15		83 4					下賤ノ不道人	269 10
82 8	タツタ一筋シ	タツタ一筋ジダ	268 15		83 4					ト云タアレドモ	269 10
82 9	山里ト云ハ	山里ト云ヲ	269 1		83 5					門閻忍痛ノ	269 11
28 10	見合タゾ	見合せタゾ	269 1		83 6					退散シタト見レバ	269 11
82 10	六ヶ敷イツムラヲリヲ	六ツカシイ之ヲヲリヲ	269 2		83 6					初関ノトツト	269 12
82 10	蹈ンデ至ルワ	蹈ンデ至ルハ	269 2		83 6					無端ホト	269 12
82 10	神秀ノ修行門外ノ	神秀ノ修行門外ノ	269 2		83 6					逐盖乾坤ト	269 12
82 11	遊人タゾ	遊人ダ	269 2		83 7					東土夷ス	269 13

83-8	百尺ノ竿頭ニ	269-14	83-10	狼藉不 <sub>レ</sub> 打禁外エ	269-16
83-7	弄ジ羊デハ	269-14	83-10	押下 <sub>ヲ</sub> シテ戒ルガ	269-16
83-9	肝要ト持テバ	269-15	83-10	是非海裏ニ	269-16

△昭和47年度▽

修士論文題目一覧

滑稽文学の研究	石原 俊道	上代歌謡研究	岩田 明倫	国木田独歩研究	水上 岳志
源氏物語・紫の上考	植木 喬	井原西鶴の研究	福留 一誠	中原中也論	菊地 和憲
世阿弥研究	大友 泰司	僧侶と和歌の一考察	利根川順人	樋口一葉研究	松元 俊一
柿本人麻呂の研究	一川 昇平	松尾芭蕉の研究	渡辺 金作	「笈の小文」の研究	野辺 妙子
鴨長明研究	滝本 紀彦	更級日記の考察	飯田 徹	中原中也の詩について	小沼 仁
山上憶良の作品について	浜 義弘	大岡昇平に於けるフロイドの影響	池内 洋	辻 潤論	寺島 善仁
契沖の萬葉学	森川 敏行	島崎藤村の研究	鈴木 文男	更級日記の一考察	渡辺 和子
井原西鶴の研究	若松 良之	更級日記	山本 美和	古今集仮名序について	中沢 博茂
		織田作之助	窪田 茂	枕草子の研究	岡本 道夫
		平家物語研究	若山 芳昭	種田山頭火一考察	楠原 則正
		横溝正史とその作品	岩崎 保夫	平家物語研究	関口 秀子
		おくのほそ道研究	三国 典昭	田山花袋研究	内田 浄寛
		井原西鶴研究	泰山 宜彰	俳人山頭火	都築美和子
		禅と中世文学	松井 範雄	西鶴文学の研究	中原 栄
		方丈記における無常観	片桐 道善	和泉式部日記の研究	森岡 優子
		雨月物語の研究	野沢美代子	有島武部の研究	川島 明
		古今集の成立に関する考察	伊藤 宗範	仏説教話の研究	久保田 実
		大伴家持と越中時代	栗嶋 京子	平家物語研究	畑山 雅仁
		お伽草子について	原田真理子	平家物語の研究	杉山 竹志
			井原西鶴の研究		稲村 純子

卒業論文題目一覧 (副題は除く)

井原西鶴論	金剛 宣成	井原西鶴研究	泰山 宜彰	西鶴文学の研究	中原 栄
「とはすがたり」の考察	堀江 敬子	方丈記における無常観	片桐 道善	有島武部の研究	森岡 優子
芭蕉の研究	寺田 光雄	雨月物語の研究	野沢美代子	仏説教話の研究	川島 明
曾我物語の一考察	伊東 秀郎	古今集の成立に関する考察	伊藤 宗範	平家物語研究	久保田 実
大和物語	佐藤 敬司	大伴家持と越中時代	栗嶋 京子	平家物語の研究	畑山 雅仁
王朝文学と中国思想について	木村 豊	お伽草子について	原田真理子	平家物語の研究	杉山 竹志
			井原西鶴の研究		稲村 純子